

目次

本書をお読みになる前に	5
本書の表記	5
商標および著作権について	7
第1章 特長	
1 本パソコンの特長	10
運用面、セキュリティ面に優れたシンクライアント	10
内蔵フラッシュメモリへの書き込み保護について	11
2 OSについて	12
Windows XP Embedded with Service Pack 2について	12
管理者権限とユーザー アカウント	12
Windows のパスワード	13
Internet Explorer	13
言語オプションの選択	13
3 セキュリティ	14
第2章 各部名称	
1 各部の名称と働き	18
パソコン本体前面	18
パソコン本体背面	20
第3章 ハードウェア	
1 疲れにくい使い方	24
ディスプレイ	25
使用時間	25
入力機器	25
机と椅子	25
作業スペース	25
2 周辺機器を取り付ける前に	26
本製品について	26
取り扱い上の注意	26
3 マウスについて	28
マウスの使い方	28
4 キーボードについて	31
5 スマートカードについて	34
6 プリンタについて	35
接続について	35

7 ハードウェアのお手入れ	36
パソコン本体のお手入れ	36
マウスのお手入れ	36
キーボードのお手入れ	37

第 4 章 動作環境の設定

1 保護管理ツールについて	40
初期設定などを変更する	41
2 ディスプレイ関連	43
解像度と色数について	43
3 音量の設定	44
画面上の音量つまみで設定する	44
再生時／録音時の音量設定について	44
4 通信	47
LANについて	47
5 省電力	48
スタンバイ	48
注意事項	48
省電力の設定	49
スタンバイ状態にする	50
スタンバイ状態からのレジューム	51

第 5 章 ソフトウェア

1 ソフトウェア一覧	54
搭載ソフト一覧	54
各ソフトウェアの紹介	54
2 ドライバ、ソフトウェアのインストールについて	57
リカバリディスクについて（格納ドライバとソフトウェア）	57

第 6 章 BIOS

1 BIOS セットアップとは	60
2 BIOS セットアップの操作のしかた	61
BIOS セットアップを起動する	61
設定を変更する	62
各キーの役割	62
BIOS セットアップを終了する	63
3 メニュー詳細	64
Startup メニュー	64
Chipset メニュー	66
Disks メニュー	66
Components メニュー	67
Power メニュー	68

Boot メニュー	69
Event メニュー	69
Exit メニュー	70
4 BIOS のパスワード機能を使う	71
パスワードの種類	71
パスワードを忘れてしまったら	71
パスワードを設定する	72
パスワードを変更／削除する	73
5 BIOS が表示するメッセージ一覧	74
メッセージが表示されたときは	74
メッセージ一覧	74

第 7 章 技術情報

1 仕様一覧	76
本体仕様	76
2 コネクタ仕様	77

第 8 章 トラブルシューティング

1 トラブルに備えて	82
テレビ／ラジオなどの受信障害防止について	82
ドキュメントの確認	82
2 トラブル発生時の基本操作	84
本パソコンや周辺機器の電源を確認する	84
以前の状態に戻す	84
Safe モード	84
メッセージなどが表示されたらメモしておく	84
診断プログラムを使用する	85
リカバリ	85
3 起動・終了時のトラブル	86
4 Windows、ソフトウェア関連のトラブル	88
5 ハードウェア関連のトラブル	89
インターフェースのご使用について	89
ハードウェア関連のトラブル一覧	89
BIOS	90
メモリ	90
内蔵 LAN	90
デバイス	91
スマートカード	91
ディスプレイ	91
サウンド	92
キーボード	93
マウス	93
USB	94

プリンタ	94
その他	94
6 それでも解決できないときは	95
お問い合わせ先	95
索引	97

本書をお読みになる前に

本書の表記

■ 警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

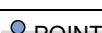
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
  ↑  ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。
- また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「Internet Explorer」をクリックする操作

```
↓
「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の順にクリックします。
```

■ BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニュー やサブメニュー または項目を、「-」(ハイフン) でつなげて記述する場合があります。また、設定値を「:」(コロン) の後に記述する場合があります。

例：「Startup」メニューの「Splash Boot Logo」の項目を「✓ (有効)」に設定します。

```
↓
「Startup」-「Splash Boot Logo」:✓ (有効)
```

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 製品名の表記

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
TC-5230	本パソコン／パソコン本体
Microsoft® Windows® XP Embedded	Windows XP Embedded／Windows
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional
Citrix Presentation Server™	Citrix Presentation Server

■ お問い合わせ先／URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2007 年 12 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください (→『取扱説明書』)。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Citrix、ICA (Independent Computing Architecture)、MetaFrame、MetaFrame XP、および Program Neighborhood は、Citrix Systems, Inc の米国およびその他の国における登録商標です。Citrix Presentation Server および SpeedScreen は、Citrix Systems, Inc の米国およびその他の国における商標です。

Portshutter は、株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズの商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2007

Memo

第1章

特長

本パソコンの特長について説明しています。

1 本パソコンの特長	10
2 OSについて	12
3 セキュリティ	14

1 本パソコンの特長

運用面、セキュリティ面に優れたシンクライアント

本パソコンは、パソコン本体にハードディスクを持たないシンクライアントです。サーバー上にインストールされたソフトウェアを実行し、サーバー上にデータを保管するため、従来のパソコン（ファットクライアント）に比べて次のような特徴があります。

■ ユーザー管理やソフトウェア管理がしやすい

- サーバーへのログオンが必須となるため、サーバー側でユーザーを一元管理できます。
- ソフトウェアもすべてサーバーにインストールされるため、ユーザー間でソフトウェアのバージョンが違うなどのトラブルを防げます。また、ソフトウェアの変更やバージョンアップにかかるコストを大幅に削減できます。
- 管理外のソフトウェアの無断インストールを防げます。また、ウイルスなどの対策もサーバー側で一元管理できます。

■ 故障などによるデータ消失のリスクを最小化

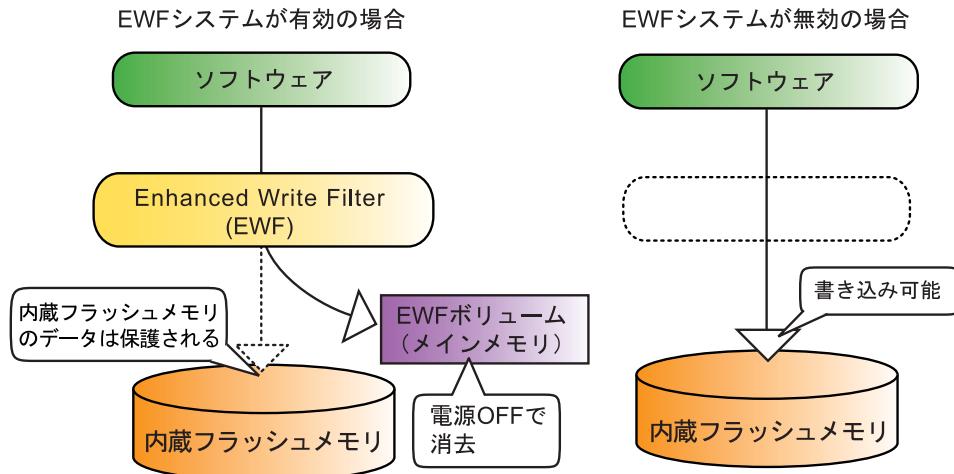
- 各クライアントがハードディスクを持たないため、クライアントの故障によるデータの損失がありません。

■ 情報漏洩に強い

- 各パソコンで作成した情報などはすべてサーバー側に保存されるため、万一本パソコンが盗難に遭った場合でも情報漏洩のリスクがありません。
- フロッピーディスクドライブや光ディスクドライブなどを搭載しておりません。また、外部記憶媒体による情報漏洩を防ぐために、「Portshutter」を使用してUSBメモリやコンパクトフラッシュカードなどの使用を制限できます。
- セキュリティ設定もサーバー側で行うため、セキュリティポリシーの管理・変更などが容易になります。また、個々のクライアント上での設定ミスが防げます。

内蔵フラッシュメモリへの書き込み保護について

本パソコンの OS や環境設定などのシステムデータは内蔵フラッシュメモリに保存されており、Enhanced Write Filter (以降、EWF と略します) システムによって保護されています。EWF は本パソコン特有のシステムで、内蔵フラッシュメモリへの書き込みが発生した場合に、それらを内蔵フラッシュメモリに書き込む代わりに全てメモリ上の EWF ボリュームに対して書き込みを行うことで、内蔵フラッシュメモリ内のシステムデータを保護します。



この EWF ボリュームへの書き込みは、ソフトウェアなどからは内蔵フラッシュメモリ上のシステムデータに書き込みを行ったのと全く同じように見えていますが、実際には書き込まれたデータはメモリ上に記憶されるため、通常の方法でネットワークなどの設定変更を行った場合、本パソコンを再起動すると初期状態に戻ってしまいます。

本パソコンでは、ネットワークの設定などの初期状態を変更したい場合は、「保護管理ツール」を使用してこの EWF システムを一時的に無効にすることにより、内蔵フラッシュメモリ内のシステムデータに直接書き込むことができます。

「保護管理ツール」については「保護管理ツールについて」(→ P.40) をご覧ください。

POINT

- ▶ 電源を切らずにスタンバイ状態にした場合は、EWF ボリュームへの記録内容は保持されます。ただし、スタンバイ状態のまま電源が切れた場合は、EWF ボリュームの内容は消去されますのでご注意ください。

2 OSについて

Windows XP Embedded with Service Pack 2について

本パソコンに搭載されているオペレーティングシステム（OS）は、Windows XP Embedded with Service Pack 2です。

Windows XP EmbeddedはWindows XP Professionalと同様の操作性をもっていますが、コンポーネント化されたバージョンであるため、目的に合わせて最適な機能のみを実装することができるOSです。本パソコンでは、シンクライアントとしての運用性、安全性のために、必要な機能のみに限定しております。

ご使用にあたっては、富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html) の「お使いになる上での注意事項」をご覧ください。

管理者権限とユーザー アカウント

本パソコンのご購入時の設定では、Administrator（コンピュータの管理者）アカウントのみが作成されています。Administratorのパスワードは設定されておりませんので、最初にこのパスワードを設定してください。

その後、必要に応じて新しいアカウントを作成してください。

アカウントの作成方法は次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「ユーザー アカウント」をダブルクリックします。
「ユーザー アカウント」 ウィンドウが表示されます。
- 3 「新しいアカウントを作成する」をクリックします。

この後はメッセージに従って操作します。

重要

- ▶ 本パソコンは、ご購入時は内蔵フラッシュメモリへの書き込みができないように設定されています。Administratorへのパスワードの設定、ユーザー アカウントの追加はご購入時の状態でも行うことができますが、再起動を行うとそれらの設定は消去されて元に戻ってしまいます。
再起動を行っても設定が保存されるようにするには、「保護管理ツール」を使用して EWF システムを一時的に無効にする必要があります。
「保護管理ツール」については「保護管理ツールについて」（→ P.40）をご覧ください。

POINT

- ▶ ユーザー アカウントには、「コンピュータの管理者」と「制限付きアカウント」が用意されています。本パソコンを管理される方用に「コンピュータの管理者」、通常業務でお使いになる方用に「制限付きアカウント」をお使いになることをお勧めします。

Windows のパスワード

Windows の起動時やレジューム時、スクリーンセーバーからの復帰時のパスワードを設定できます。

複数のユーザーで 1 台のパソコンを使用する場合、使用するユーザーによってパスワードを変更できます。

パスワードの設定方法は次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「ユーザー アカウント」をダブルクリックします。
「ユーザー アカウント」ウィンドウが表示されます。
- 3 「アカウントを変更する」をクリックします。
- 4 パスワードを設定するアカウントをクリックします。
- 5 「パスワードを作成する」または「パスワードを変更する」をクリックします。

この後はメッセージに従って操作します。

Internet Explorer

本パソコンには Internet Explorer が搭載されておりますが、Citrix Presentation Server の Web インターフェースでの使用を主な用途として想定しています。セキュリティの一元管理の観点からも、インターネットの閲覧には「リモートデスクトップ接続」または、「Citrix Presentation Server クライアント」を使用し、サーバー側の Internet Explorer を使用することをお勧めします。

言語オプションの選択

本パソコンは、日本語にのみ対応しています。

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の「地域と言語のオプション」で使用する言語に日本語以外を選択する操作が可能ですが、変更は行わないでください。

重要

- ▶ EWF システムが有効（「保護設定」）になっている状態では、設定後に再起動することによって元の状態に戻すことができますが、EWF システム無効（「保護解除」）の状態で変更してしまうと、以後システムが動作しなくなるなどの不具合の原因となることがあります。管理者の方は充分にご注意ください。
なお、誤って変更してしまいシステムが動作しなくなった場合はリカバリを実行してください。リカバリの方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

3 セキュリティ

本パソコンは、次のセキュリティ機能をサポートしています。

- BIOS パスワード (→ P.14)
- Portshutter (→ P.14)
- スマートカードリーダ／ライタ (→ P.14)
- 指紋センサー (→ P.15)
- 静脈センサー (→ P.15)
- 盗難防止用ロック取り付け穴 (→ P.16)

■ BIOS パスワード

● 不正利用防止

パソコンの起動時やリジューム時のパスワードを設定できます。BIOS のパスワードには、管理者用のパスワードとユーザー用のパスワードがあります。ユーザー用パスワードで作業を行う場合、パソコンの設定が変更できなくなるなどの制限がつきます。

管理者用のパスワードは本パソコンを管理される方のみが保管し、通常業務でお使いになる方にはユーザー用パスワードのみを通知されることをお勧めします。

詳しくは、「BIOS」－「BIOS のパスワード機能を使う」(→ P.71) をご覧ください。

■ Portshutter

● 情報の持ち出し防止

☞ 重要

- ▶ 無効に設定したポートは、機器を接続してもお使いになれません。

USB、シリアル、パラレルなどの各ポートの使用を制限するツールです。USBは機器ごとに有効/無効の設定が可能なため、業務上必要な機器を接続しつつ、セキュリティを低下させるおそれのある機器は無効にすることができます。

USBポートを無効にする場合、USB機器ごとに有効/無効の設定が可能なため、業務上必要な機器を接続しつつ、セキュリティを低下させるおそれのある機器は無効にすることができます。

詳しくは、添付の「リカバリディスク」にある「¥VALUEADD¥Portshut¥Portshut¥Manual¥操作マニュアル.pdf」をご覧ください。

■ スマートカードリーダ／ライタ

- Windows XP Embedded へのログオン認証
- Citrix Presentation Server へのログオン認証

☞ 重要

- ▶ スマートカードリーダ／ライタをお使いになるには、別売の「SMARTACCESS/Premium」のライセンスが必要です。

パソコンやWindowsの起動時、Citrix Presentation Serverのログオン時にスマートカード認証によるセキュリティを設定できます。スマートカードにはIDやパスワードなどのセキュリティ情報を格納します。1枚のスマートカードに管理者用とユーザー用のパスワードを、1つずつ設定できます。

パソコンを使用する場合は、パソコン本体にスマートカードをセットし、PIN（個人認証番号）を入力します。スマートカードをセットしないとセキュリティが解除できないため、従来のパスワード認証よりも安全に使用できます。

詳しくは、「ハードウェア」－「スマートカードについて」（→P.34）をご覧ください。

■ 指紋センサー

- Windows XP Embedded へのログオン認証
- Citrix Presentation Server へのログオン認証

○ 重要

- ▶ 指紋センサーをお使いになるには、別売の「バイオ認証装置」、「指紋認識装置」、「SMARTACCESS/Premium」のライセンスが必要です。
- ▶ 指紋認証は、ネットワークに接続され「バイオ認証装置」にアクセス可能な状態でのみ使用できます。ネットワークへの接続前には使用できません。

パソコンやWindowsの起動時、Citrix Presentation Serverのログオン時に指紋認証によるセキュリティを設定できます。従来のパスワード認証に変わり、指紋による個人認証を行います。

パソコンを使用する場合は、指紋センサー部で指をスライドします。パスワードを覚える必要がなく、個々の指紋を記憶できるので、簡単に安全に使用できます。

詳しくは、別売の「SMARTACCESS/Premium」のマニュアルをご覧ください。

■ 静脈センサー

- Windows XP Embedded へのログオン認証
- Citrix Presentation Server へのログオン認証

○ 重要

- ▶ 静脈認証をお使いになるには、別売の「バイオ認証装置」、「バイオ認証装置のオプション製品「静脈認証オプション」、「PalmSecure™ センサー」、「SMARTACCESS/Premium」のライセンスが必要です。
- ▶ 静脈認証は、ネットワークに接続され「バイオ認証装置」にアクセス可能な状態でのみ使用できます。ネットワークへの接続前には使用できません。
- ▶ 「PalmSecure™ センサー」を使用する場合は、「PalmSecure™ センサー」のドライバのインストールを行う必要があります。

パソコンやWindowsの起動時、Citrix Presentation Serverのログオン時に静脈認証によるセキュリティを設定できます。従来のパスワード認証に変わり、静脈による個人認証を行います。

パソコンを使用する場合は、静脈センサー部に手のひらをかざします。パスワードを覚える必要がなく、個々の静脈を記憶できるので、簡単に安全に使用できます。詳しくは、別売の「SMARTACCESS/Premium」のマニュアルをご覧ください。

■ 盗難防止用ロック取り付け穴

● 機器の持ち出し防止

本パソコンの盗難防止用ロック取り付け穴に盗難防止用ケーブルを取り付けることで、パソコン本体の盗難の危険性が減少します。

盗難防止用ロック取り付け穴の場所については、「各部名称」－「各部の名称と働き」(→ P.18)をご覧ください。

第2章 各部名称

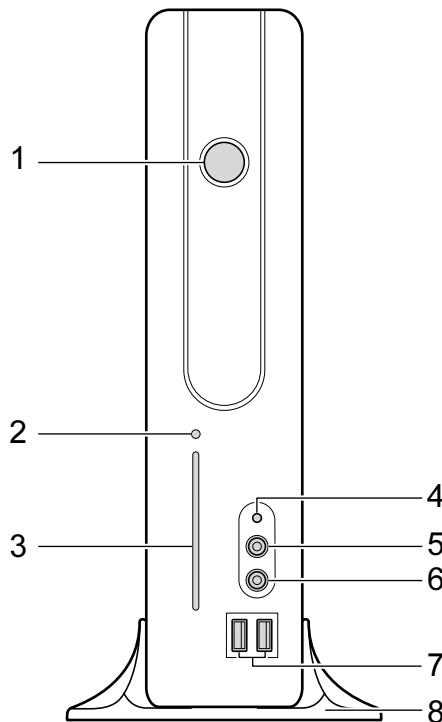
各部の名称と働きについて説明しています。

1 各部の名称と働き 18

1 各部の名称と働き

パソコン本体前面

各番号をクリックすると説明箇所へジャンプします。



1 電源ボタン／電源ランプ (①)

次の場合に押します。

- ・パソコン本体の電源を入れるとき
- ・スタンバイ状態（省電力状態）にするとき

「電源オプションのプロパティ」ウィンドウの設定を変更してください。詳しくは、「動作環境の設定」－「省電力」（→ P.48）をご覧ください。

- ・スタンバイ状態から復帰（リジューム）するとき

また、電源ボタンは電源ランプになっており、パソコン本体の電源の状態を表しています。

緑色に点灯しているときは、電源が入っています。

オレンジ色に点灯しているときは、スタンバイ状態（省電力状態）です。

2 スマートカードアクセスランプ (②)

スマートカードにアクセスしているときに点滅します。

3 スマートカード専用スロット

別売のスマートカードをセットするためのスロットです。

4 内蔵フラッシュメモリアクセスランプ (ACCESS)

内蔵フラッシュメモリにアクセスしているときに点灯します。

5 ヘッドホン端子 (Ω)

市販のヘッドホンを接続します。

ヘッドホンを接続している間は、パソコン本体のラインアウト端子からは、音が出ません。

6 マイク端子 (擐)

Citrix Presentation Server の Advanced Edition、または Enterprise Edition のみで使用できます。

市販のコンデンサマイクを接続します。

7 USB コネクタ (•□□)

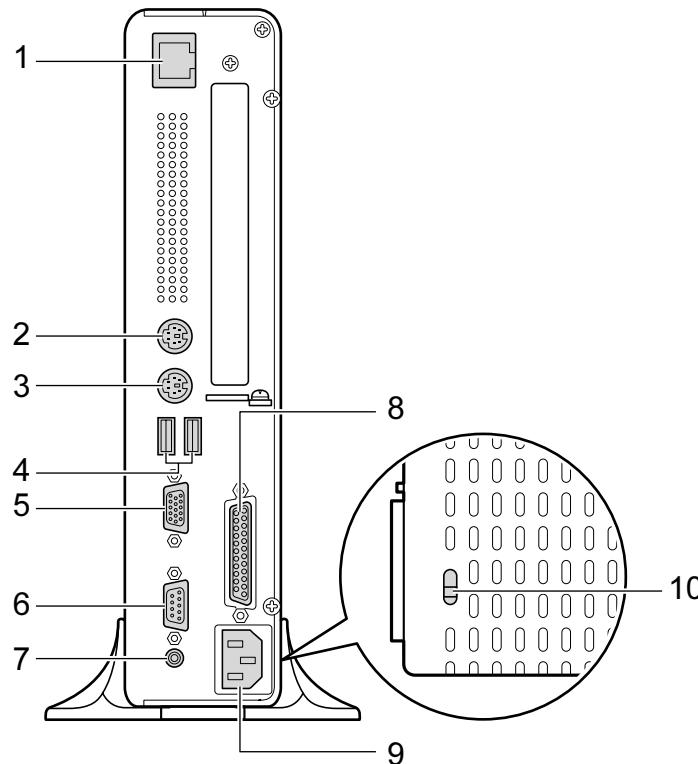
USB 規格の周辺機器を接続します。USB2.0 に準拠しています。

8 スタンド

本パソコンをお使いになるときに取り付ける台座です (→『取扱説明書』)。

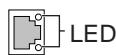
パソコン本体背面

各番号をクリックすると説明箇所へジャンプします。



1 LAN コネクタ (図)

LAN ケーブルを接続します。



LED の意味は、次のとおりです。

	下部 LED (Link/Act)	上部 LED (Speed)
1000Mbps で LINK を確立	緑色点灯 <small>注</small>	オレンジ点灯
100Mbps で LINK を確立	緑色点灯 <small>注</small>	緑色点灯
10Mbps で LINK を確立	緑色点灯 <small>注</small>	消灯

注 : データ転送中 : 緑色点滅

「動作環境の設定」 – 「LAN について」 (→ P.47)

2 キーボードコネクタ (図)

PS/2 キーボードを接続します。

「ハードウェア」 – 「キーボードについて」 (→ P.31)

3 マウスコネクタ (図)

PS/2 マウスを接続します。

「ハードウェア」 – 「マウスについて」 (→ P.28)

4 USB コネクタ (図)

USB 規格の周辺機器を接続します。USB2.0 に準拠しています。

5 ディスプレイコネクタ (□)

ディスプレイを接続します。アナログRGB規格のディスプレイケーブルが使用できます。

6 シリアルコネクタ (□□)

RS-232C 規格に対応した機器を接続するためのコネクタです。

7 ラインアウト端子 (□)

サウンド出力用端子です。オーディオ機器の入力端子と接続します。

スピーカーを直接接続する場合は、アンプ機能内蔵のものをお使いください。

また、ヘッドホン端子にヘッドホンを接続している場合、ラインアウト端子からは音が
出ません。

8 パラレルコネクタ (□)

プリンタなどを接続するためのコネクタです。

「ハードウェア」 - 「プリンタについて」 (→ P.35)

9 インレット

電源ケーブルを接続します。

10 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

Memo

第3章

ハードウェア

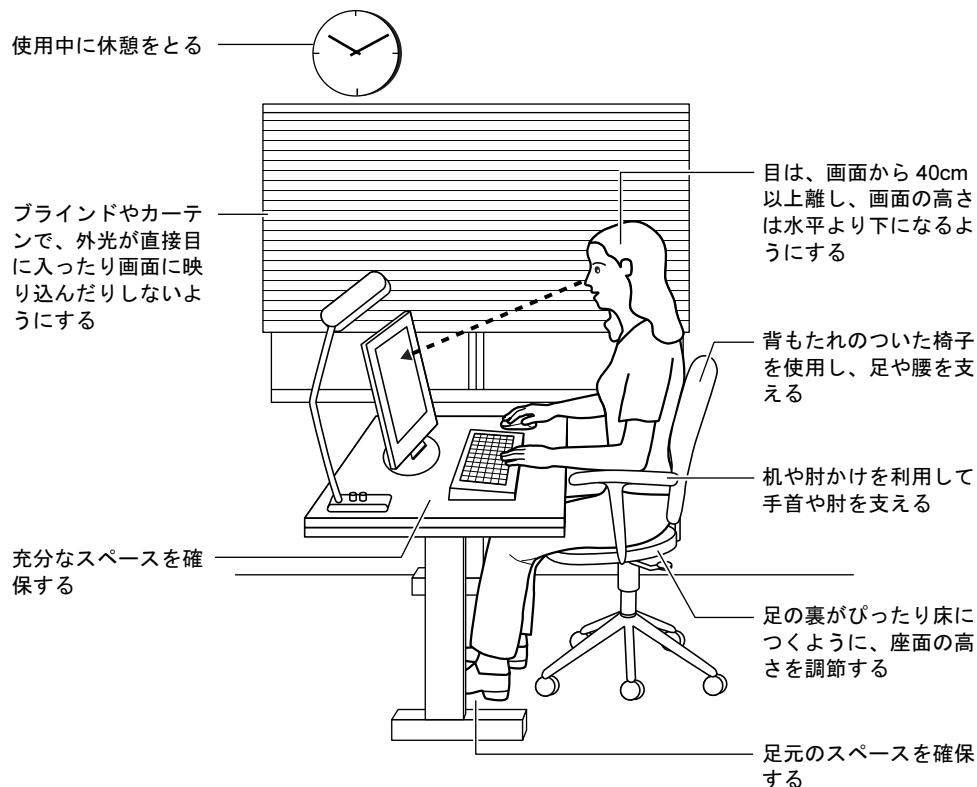
3

本パソコンを使用するうえでの基本操作や、本パソコンに取り付けられている（取り付け可能な）周辺機器の基本的な取り扱い方について説明しています。

1 疲れにくい使い方	24
2 周辺機器を取り付ける前に	26
3 マウスについて	28
4 キーボードについて	31
5 スマートカードについて	34
6 プリンタについて	35
7 ハードウェアのお手入れ	36

1 疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続ければ、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因是、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いの際は姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。



ディスプレイ

- 外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンを取り付けたり、画面の向きや角度を調整しましょう。
- 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ディスプレイの上端が目の位置と同じかやや低くなるようにしましょう。
- ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
- 目と画面の距離は、40cm 以上離すようにしましょう。

使用時間

- 1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ~ 15 分程度の休憩時間をとりましょう。また、休憩時間までの間に 1 ~ 2 分程度の小休止を 1 ~ 2 回取り入れましょう。

3

入力機器

- キーボードやマウスは、ひじの角度が 90 度以上になるようにして使い、手首や肘は机、椅子の肘かけなどで支えるようにしましょう。

机と椅子

- 高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。
 - ・机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
 - ・椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
- 椅子は、背もたれ、肘かけ付きを使用しましょう。

作業スペース

- 机上のパソコンの配置スペースと作業領域は、充分確保しましょう。
スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子の肘かけなどを利用して腕を支えましょう。

2 周辺機器を取り付ける前に

本製品について

- 本製品は、縦置きでお使いください。横置きでは使用しないでください。
- 本製品を風通しの悪い場所で使用したり、置いたりしないでください。また、設置の際はパソコン本体と壁の間に10cm以上のすき間をあけ、通気孔などの開口部をふさがないでください。
- お客様ご自身で本体カバーを開けないでください。
- 本製品では、あらゆる周辺機器の動作を保証するものではありません。ご使用になる周辺機器については、ご購入元にご確認ください。
- 電源ボタンを強く押さないでください。本体動作に影響するおそれがあります。
- 指紋センサーをお使いになる場合は、別売の「バイオ認証装置（Secure Login Box）」、および「SMARTACCESS/Premium」のライセンスが必要です。
- 静脈認証をお使いになる場合は、別売の「バイオ認証装置」、バイオ認証装置のオプション製品「静脈認証オプション」、「PalmSecure™ センサー」、および「SMARTACCES/Premium」のライセンスが必要です。

取り扱い上の注意

ここでは周辺機器を接続する前に、予備知識として知っておいていただきたいことを説明します。

● 周辺機器によっては設定作業が必要です

パソコンの周辺機器の中には、接続するだけでは正しく使えないものがあります。このような機器は、接続した後で設定作業を行う必要があります。たとえば、プリンタを使うには、取り付けた後に「ドライバのインストール」という作業が必要です。また、メモリなどのように設定作業がいらない機器もあります。周辺機器は、本書をよくご覧になり、正しく接続してください。

● マニュアルをご覧ください

ケーブル類の接続は、本書をよく読み、接続時に間違いないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、本パソコンおよび周辺機器が故障する原因となることがあります。

本書で説明している周辺機器の取り付け方法は一例です。本書とあわせて周辺機器のマニュアルも必ずご覧ください。

● 純正品をお使いください

弊社純正のオプション機器については、ご購入元にご確認ください。

他社製品につきましては、本パソコンで正しく動作するかどうか、保証いたしかねます。他社製品をお使いになる場合は、製造元のメーカーにお問い合わせくださいますようお願いいたします。

● ACPI に対応した周辺機器をお使いください

本パソコンは ACPI モードに設定されています。ACPI モードに対応していない周辺機器をお使いの場合、省電力機能などが正しく動作しない場合があります。

また、本パソコンでは、低レベルのスタンバイ (ACPI S1) をサポートしていません。お使いになる周辺機器が低レベルのスタンバイのみサポートしている場合、本パソコンをスタンバイ状態にしないでください。

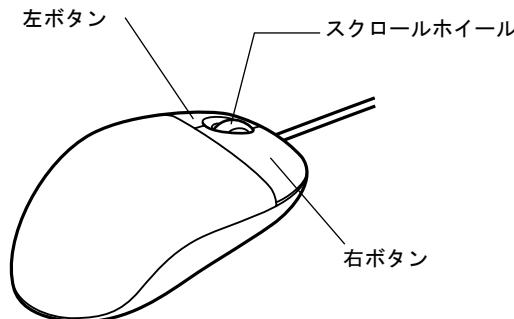
● 周辺機器の電源は、本パソコンの電源を入れる前に入れてください

電源を入れて使う周辺機器を取り付けた場合は、周辺機器の電源を入れてから本パソコンの電源を入れてください。また、周辺機器の電源を切るときは、本パソコンの電源を切ってから周辺機器の電源を切ってください。

 **重要**

- ▶ コネクタに周辺機器を取り付ける場合は、コネクタの向きを確認し、まっすぐ接続してください。
- ▶ 複数の周辺機器を取り付ける場合は、1つずつ取り付けて設定をしてください。

3 マウスについて



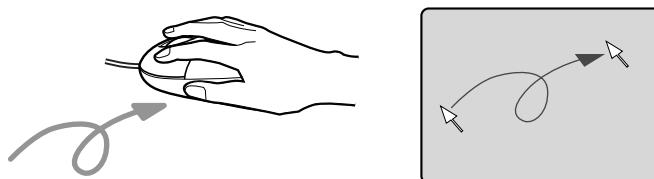
POINT

- ▶ マウスは、定期的にクリーニングしてください（→ P.36）。

マウスの使い方

■ マウスの動かし方

マウスの左右のボタンに指がかかるように手をのせ、机の上などの平らな場所で滑らせるように動かします。マウスの動きに合わせて、画面上の矢印（これを「マウスポインタ」といいます）が同じように動きます。画面を見ながら、マウスを動かしてみてください。



■ ボタンの操作

● クリック

- マウスの左ボタンを1回カチッと押します。
- また、右ボタンをカチッと押すことを「右クリック」といいます。



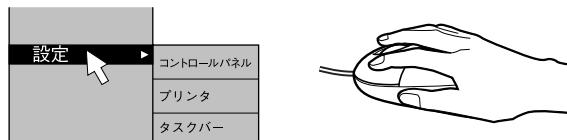
● ダブルクリック

マウスの左ボタンを2回連続してカチカチッと押します。



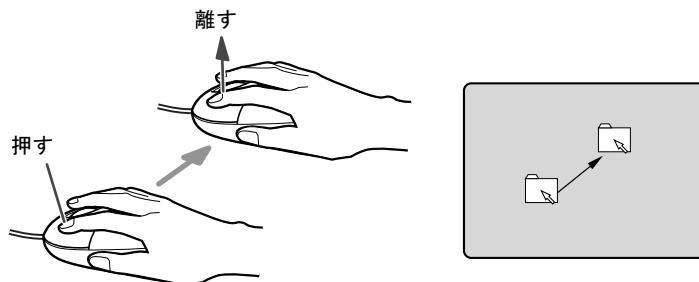
● ポイント

マウスポインタをメニューなどに合わせます。マウスポインタを合わせたメニューの下に階層がある場合(メニューの右端に▶が表示されています)、そのメニューが表示されます。



● ドラッグ

マウスの左ボタンを押したままマウスを移動し、希望の位置でボタンを離します。



● スクロール

- スクロールホイールを前後に操作することで、ウィンドウ内の表示をスクロールさせることができます。また、第3のボタンとして、押して使うこともできます。
- スクロール機能は、対応したソフトウェアで使うことができます。

POINT

- 上記のボタン操作は、「マウスのプロパティ」ウィンドウで右利き用(主な機能に左側のボタンを使用)に設定した場合の操作です。

□ USB マウス(光学式)について

USB マウス(光学式)は、底面からの赤い光により照らし出されている陰影をオプティカル(光学)センサーで検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上だけでなく、衣類の上や紙の上でも使用することができます。

※ 重要

- オプティカル(光学)センサーについて
 - マウス底面から発せられている赤い光を直接見ると、目に悪い影響を与えることがありますので避けてください。
 - センサー部分を汚したり、傷を付けたりしないでください。
 - 発光部分を他の用途に使用しないでください。

POINT

- ▶ USB マウス（光学式）は、次のようなものの表面では、正しく動作しない場合があります。
 - ・鏡やガラスなど反射しやすいもの
 - ・光沢のあるもの
 - ・濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの（木目調など）
 - ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの
- ▶ USB マウス（光学式）は、非接触でマウスの動きを検知しているため、特にマウスパッドを必要としません。ただし、マウス本体は接触しているので、傷がつきやすい机やテーブルの上では、傷を防止するためにマウスパッドをお使いになることをお勧めします。

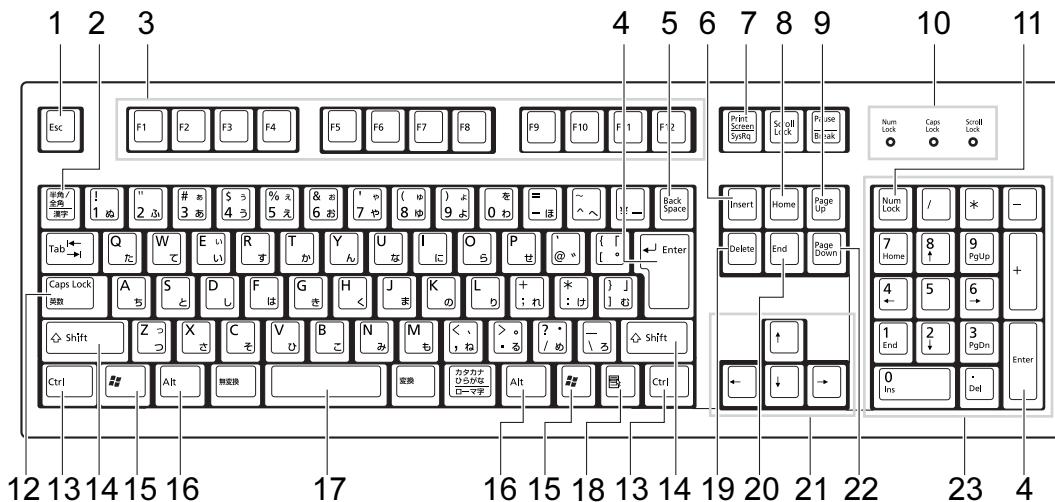
4 キーボードについて

キーボード（109A 日本語キーボード）のキーの役割を説明します。

POINT

- お使いになるソフトウェアにより、キーの役割が変わることがあります。
ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

各番号をクリックすると説明箇所へジャンプします。



1 【Esc】キー

ソフトウェアの実行中の操作を取り消します。

2 【半角／全角】キー

文字の入力時に、半角と全角を切り替えます。

3 【F1】～【F12】キー

ソフトウェアごとにいろいろな役割が割り当てられています。

4 【Enter】キー

入力した文字を確定したり、文を改行したり、コマンドを実行したりします。
リターンキー、または改行キーとも呼ばれます。

5 【Back Space】キー

カーソルの左にある文字や選択した範囲の文字を削除します。

6 【Insert】キー

文字の入力時に、「挿入モード」と「上書きモード」を切り替えます。

7 【Print Screen】キー

画面のコピーをクリップボードに取り込みます。また、【Alt】キーと一緒に押すと、アクティブになっているウィンドウのコピーをとることができます。

8 【Home】キー

カーソルを行の最初に一度に移動します。

【Ctrl】キーと一緒に押すと、文章の最初に一度に移動します。

9 【Page Up】 キー

前の画面に切り替えます。

10 インジケータ

【Num Lock】 キー、【Shift】 + 【Caps Lock 英数】 キー、【Scroll Lock】 キーを押すと点灯し、各キーが機能する状態になります。再び押すと消え、各キーの機能が解除されます。

11 【Num Lock】 キー

テンキーの機能を切り替えます。再度押すと、解除されます。

12 【Caps Lock 英数】 キー

【Shift】 キーと一緒に押して、アルファベットの大文字／小文字の入力モードを切り替えます。

Caps Lock を ON にすると大文字、OFF にすると小文字を入力できます。

13 【Ctrl】 キー

他のキーと一緒に組み合わせて使います。

14 【Shift】 キー

他のキーと一緒に組み合わせて使います。

15 【】 (Windows) キー

「スタート」メニューを表示します。

16 【Alt】 キー

他のキーと一緒に組み合わせて使います。

17 【Space】 キー

空白を入力します（キーボード手前中央にある、何も書かれていない横長のキーです）。

18 【】 (アプリケーション) キー

選択した項目のショートカットメニューを表示します。

マウスの右クリックと同じ役割をします。

19 【Delete】 キー

カーソルの右にある文字や選択した範囲の文字、または選択したアイコンやファイルなどを削除します。

また、【Ctrl】 + 【Alt】 キーと一緒に押すと、「Windows のセキュリティ」 ウィンドウが表示され、システムを強制終了できます。

20 【End】 キー

カーソルを行の最後に移動します。

【Ctrl】 キーと一緒に押すと、文章の最後に移動します。

21 カーソルキー

カーソルを移動します。

22 【Page Down】 キー

次の画面に切り替えます。

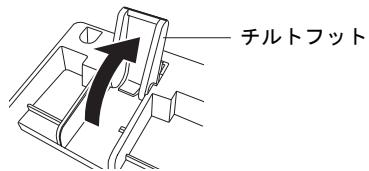
23 テンキー

「Num Lock」 インジケータ点灯時に数字が入力できます。

「Num Lock」 インジケータ消灯時にキーワードに刻印された機能が有効になります。

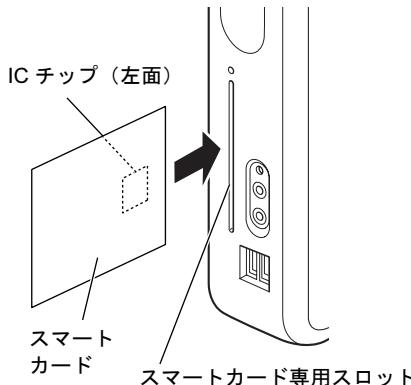
 **POINT**

- ▶ キーボード底面にあるチルトフットを起こすと、キーボードに角度をつけることができます。



5 スマートカードについて

スマートカードはICチップ面を左にして、奥までゆっくり差し込んでください(スマートカード専用スロットの位置などの詳細は「各部名称」—「パソコン本体前面」(→P.18)をご覧ください)。



重要

- ▶ スマートカードを使用するときは、次の点に注意してください。
 - ・折り曲げたり、汚したり、濡らしたりしないでください。
 - ・磁石などの磁気を帯びたものを近づけないでください。
 - ・電気を帯びたものを上に載せたり、近くで静電気を発生させたりしないでください。
 - ・高温の場所に保管しないでください。
 - ・カードに衝撃を与えないでください。
- ▶ スマートカード挿入時は、パソコン本体からスマートカードが約4.5cm出ている状態になります。無理に押し込んだり、カードに強く引っかかったりすると、パソコン本体が故障する原因およびスマートカードが破損する原因になりますのでご注意ください。

POINT

- ▶ 本製品では、スマートカードを差し込むことによって本パソコンの電源を入れたり、スタンバイ状態からレジュームさせることができます。

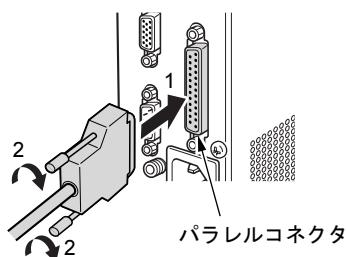
6 プリンタについて

☞ 重 要

- ▶ プリンタの接続にはプリンタケーブルが必要です。プリンタケーブルは、プリンタに添付されていないことがあります。
- また、添付されているものも、コネクタの形状により接続できない場合もあります。そのような場合は、接続できるプリンタケーブルを別にお買い求めください。
- ▶ プリンタの接続方法は、プリンタによって異なります。プリンタのマニュアルをご覧ください。

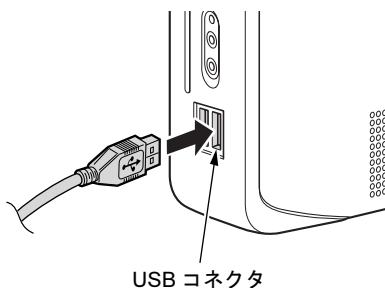
接続について

■ パラレルコネクタの場合



■ USB コネクタの場合

パソコン本体前面または背面の USB コネクタに接続します。



7 ハードウェアのお手入れ

パソコン本体のお手入れ

△警告



- お手入れをする場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行うようにしてください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

- 柔らかい布で、から拭きします。から拭きで落ちない汚れは、中性洗剤をしみ込ませ固くしぼった布で拭きます。汚れが落ちたら、水に浸して固くしぼった布で、中性洗剤を拭き取ります。拭き取りのときは、パソコン本体に水が入らないようにご注意ください。
- 中性洗剤以外の洗剤や溶剤などを使いにならないでください。パソコン本体を損傷する原因となります。
- パソコン本体内部にはこりがたまると、故障の原因となります。通風孔にほこりがたまらないように定期的に清掃してください。
- 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

マウスのお手入れ

表面の汚れは、柔らかい布でから拭きします。

汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りの際は、マウス内部に水が入らないよう充分に注意してください。なお、シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきんは絶対に使わないでください。

また、PS/2 マウスのボールがスムーズに回転しないときは、ボールを取り外してクリーニングします。ボールのクリーニング方法は、次のとおりです。

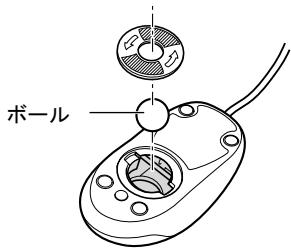
1 マウスの裏ブタを取り外します。

マウス底面にある裏ブタを、矢印の方向に回して取り外します。



2 ボールを取り出して、水洗いします。

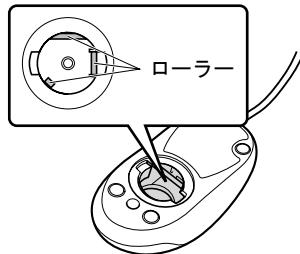
マウスをひっくり返し、ボールを取り出します。その後、ボールを水洗いします。



3 マウス内部をクリーニングします。

マウス内部、および裏ブタを、水に浸して固くしぼった布で拭きます。

ローラーは、綿棒で拭きます。



4 ボール、裏ブタを取り付けます。

ボールとマウスの内部を充分乾燥させたら、ボールと裏ブタを取り付けます。

キーボードのお手入れ

キーボードの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。

汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りの際は、キーボード内部に水が入らないよう充分に注意してください。なお、シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきんは絶対に使わないでください。

重要

- ▶ キーボードのキーとキーの間のホコリなどをとる場合、次の点にご注意ください。
 - ・ゴミは吹き飛ばして取らないでください。キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。また、掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。
 - ・ホコリなどを取る場合は、柔らかいブラシなどを使って軽くホコリを取り除いてください。
 - その際、毛先が抜けやすいブラシは使用しないでください。キーボード内部にブラシの毛などの異物が入り、故障の原因となる場合があります。

Memo

第4章

動作環境の設定

本パソコンでの動作環境の設定について説明しています。

4

1 保護管理ツールについて	40
2 ディスプレイ関連	43
3 音量の設定	44
4 通信	47
5 省電力	48

1 保護管理ツールについて

「保護管理ツール」を使用して EWF システムの状態を一時的に無効にし、初期設定などの変更を内蔵フラッシュメモリに直接書き込む方法について説明しています。

☞ 重要

- ▶ 「保護管理ツール」は、「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしている場合のみお使いいただけます。

■「保護管理ツール」の起動

「保護管理ツール」を起動するには、次のように操作します。

- 1 「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンします。
- 2 通知領域の「保護管理ツール」アイコン  をダブルクリックします。
「保護管理ツール」 ウィンドウが表示されます。
- 3 「保護管理ツール」が起動されました。
「保護管理ツール」を終了するには、画面右上の「閉じる」ボタンをクリックします。

■「現在の状態：」を確認する

「保護管理ツール」を起動すると表示される「保護管理ツール」 ウィンドウの「現在の状態：」から EWF システムの状態を確認できます。

● 保護設定

EWF システムが有効で、内蔵フラッシュメモリへの書き込みが禁止された状態です。ソフトウェアなどからの書き込みは、メモリ上の EWF ボリュームに書き込まれるため、再起動すると全ての設定が無効となります。

詳しくは、「内蔵フラッシュメモリへの書き込み保護について」(→P.11) をご覧ください。

POINT

- ▶ ご購入時は、「保護設定」状態に設定されています。

● 保護解除

EWF システムが無効で、内蔵フラッシュメモリの書き込みが可能な状態です。各種設定を変更する場合は、この状態に切り替えます。

初期設定などを変更する

EWFシステムを一時的に無効にし、初期設定などの変更を内蔵フラッシュメモリ内のシステムデータに直接書き込むには、次のように操作します。

※ 重要

- ▶ EWFシステムを無効にし、初期設定などを変更した後は、必ず「保護設定」状態に戻し、EWFシステムを有効にしてください。

■「保護解除」ボタンを使用する

初期設定などを変更する場合、通常はこのボタンを使用します。

- 1 通知領域の (保護管理ツール) をダブルクリックして起動します。
「現在の状態：」が「保護設定」になっていることを確認します。
- 2 「保護解除」ボタンをクリックします。
画面の指示に従い操作します。
- 3 「保護管理ツール」を終了し、本パソコンを再起動します。
EWFシステムが解除されます。
- 4 「コンピュータの管理者」または、「制限付きアカウント」でログオンし、必要な設定を行います。
- 5 通知領域の (保護管理ツール) をダブルクリックして起動します。
「現在の状態：」が「保護解除」になっていることを確認します。

POINT

- ▶ 「制限付きアカウント」でログオンしている場合は、「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンし直してください。

- 6 「保護設定」ボタンをクリックします。
画面の指示に従い操作します。
- 7 「保護管理ツール」を終了し、本パソコンを再起動します。
EWFシステムが有効になります。
- 8 手順4で行った設定が内蔵フラッシュメモリに書き込まれました。
設定が反映されていることを確認してください。
また「保護管理ツール」の「現在の状態：」が「保護設定」になっていることを確認してください。

■「反映」ボタンを使用する

「保護設定」状態中に、なんらかの設定を、保護解除をしなくても即座に反映させたいときに使用します。

☞ 重要

- ▶ 「反映」ボタンを使用すると、ボタンを押す前までの各種設定が全て内蔵フラッシュメモリに書き込まれます。意図していない設定が書き込まれないためにも、通常の変更には「保護解除」ボタンの使用による変更手順をお勧めします。

- 1 必要な設定を行います。
- 2 通知領域の (保護管理ツール) をダブルクリックして起動します。
「現在の状態 :」が「保護設定」になっていることを確認します。
- 3 「反映」ボタンをクリックし、「はい」をクリックします。
- 4 「OK」をクリックした後、本パソコンを再起動します。

☞ 重要

- ▶ 再起動を行わないと内蔵フラッシュメモリへの書き込みは行われません。
「反映」ボタンを押した後、必ず本パソコンを再起動してください。

- 5 手順 4 で行った設定が内蔵フラッシュメモリに書き込まれました。

■ 操作を無効にする

「保護管理ツール」ウィンドウで「保護解除」／「保護設定」／「反映」ボタンを使用した後に「設定取消」ボタンを使用すると、その操作を無効にすることができます。

☞ 重要

- ▶ 「設定取消」ボタンでは、内蔵フラッシュメモリに書き込まれた変更内容を無効にすることはできません。
本機能は、本パソコンの設定をご購入時の状態に戻すものではありません。

2 ディスプレイ関連

解像度と色数について

本パソコンでは、Windows の「画面のプロパティ」 ウィンドウの「設定」 タブで次の解像度、色数を選択／変更できます。

解像度（ピクセル）	色数
800 × 600	中（16 ビット） 最高（32 ビット）
1024 × 768	
1280 × 768	
1280 × 1024	
1600 × 1200	

POINT

- ▶ 色数やリフレッシュレートを変更すると、画面がディスプレイ中央に表示されない場合があります。この場合は、ディスプレイの仕様を確認して適切なリフレッシュレートを設定するか、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください。
- ▶ ディスプレイによって、設定できる解像度が異なります。詳細はディスプレイのマニュアルをご覧ください。

3 音量の設定

音声入出力時のバランスや音量の設定は、音量を設定するウィンドウで行います。

◀ 重要

- ▶ スピーカーが故障する原因となる場合がありますので、音量はスピーカーから聞こえる音がひづまない範囲に設定や調整をしてください。

画面上の音量つまみで設定する

1 通知領域の「音量」アイコンをクリックします。

音量を調節する画面が表示されます。

POINT

- ▶ 通知領域に「音量」アイコンが表示されない場合は、次の手順を実行してください。
 1. 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
 2. 「サウンドとオーディオデバイス」をダブルクリックします。
「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」が表示されます。
 3. 「音量」タブをクリックします。
 4. 「デバイスの音量」の「タスクバーに音量アイコンを配置する」のチェックを付けます。
 5. 「OK」をクリックし、すべてのウィンドウを閉じます。

2 音量つまみを上下にドラッグして、適当な音量に調節します。

「ミュート」をチェックすると音が消え、通知領域の表示も変わります。

3 デスクトップの何もないところをクリックします。

音量を調節する画面が消えます。

消えなかった場合は、いったん音量つまみをクリックしてから、デスクトップの何もないところをクリックしてください。

再生時／録音時の音量設定について

■ 再生時の音量設定方法

1 通知領域の「音量」アイコンをダブルクリックします。

音量を設定するウィンドウが表示されます。

2 バランスや音量などを調節します。

■ 録音時の音量設定方法

- 1 通知領域の「音量」アイコンをダブルクリックします。
音量を設定するウィンドウが表示されます。
- 2 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「音量の調整」で「録音」を選択します。
- 4 バランスや音量などを調節します。

■ 設定

POINT

- ▶ 表示されていない項目（注1が付いている項目）を表示させる場合は、次のように設定します。
1. 「オプション」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。
 2. 「表示するコントロール」で、項目をクリックしてチェックします。
項目が表示されるようになります。

□ 再生時の音量設定

項目	ご購入時の表示状態	ご購入時の設定	設定する音量
Volume Control	表示	—	パソコン全体の音量
Wave	表示	—	Wave 音源の音量
SW Synth ^{注1}	非表示	ミュート	ご使用になれません
Mic ^{注1}	非表示	ミュート	マイク端子に接続したマイクの音量
Line In ^{注1}	非表示	ミュート	ご使用になれません
CD Player ^{注1}	非表示	ミュート	ご使用になれません
Aux ^{注1}	非表示	ミュート	ご使用になれません
Phone ^{注1}	非表示	ミュート	ご使用になれません
PC Speaker ^{注1}	非表示	ミュート	ご使用になれません

注1: ご購入時には表示されていません。

□ 録音時の音量設定

録音機能は Citrix Presentation Server の Advanced Edition、または Enterprise Edition のみで使用できます。

項目	ご購入時の表示状態	設定する音量
Recording Control	表示	録音全体のコントロール ^{注1}
Stereo Mixer ^{注2}	非表示	再生音全体の録音音量
Mic	表示	マイク端子に接続したマイクの音量
Line In ^{注2}	非表示	ご使用になれません
CD Player ^{注2}	非表示	ご使用になれません
Aux ^{注2}	非表示	ご使用になれません
S/PDIF In	非表示	ご使用になれません

注1：音量およびバランスの調整はできません。

注2：ご購入時には表示されていません。

4 通信

ネットワーク設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

LANについて

■ LAN を接続する

本パソコンには、下記に対応した LAN が内蔵されています。

- 10BASE-T (IEEE 802.3 準拠)
- 100BASE-TX (IEEE 802.3u 準拠)
- 1000BASE-T (IEEE 802.3ab 準拠)

⚠ 警告



- 近くで落雷のおそれがある場合は、パソコン本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、LAN ケーブルをコネクタから抜き、雷が止むまで取り付けないでください。
そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。

⚠ 注意



- LAN コネクタに指などを入れないでください。
感電の原因となることがあります。
- LAN ケーブルを接続する場合は、必ず LAN コネクタに接続してください。
接続するコネクタを間違うと故障の原因となることがあります。

1 パソコン本体の電源を切ります (→ 『取扱説明書』)。

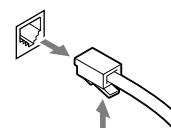
2 パソコン本体の LAN コネクタとネットワークを、LAN ケーブルで接続します。
コネクタの形を互いに合わせ、まっすぐに差し込んでください。
LAN コネクタについては、「各部名称」-「各部の名称と働き」(→ P.18) をご覧ください。

※ 重要

- ▶ ネットワークを使用中に省電力機能が働いてしまうと、他の装置からアクセスできなくなったり、ソフトウェアの不具合が発生したりする場合があります。
その場合は、「省電力」(→ P.48) をご覧になり、省電力機能を解除してください。

POINT

- ▶ LAN コネクタからプラグを取り外すときは、ツメを押さえながら引き抜いてください。ツメを押さえずに無理に引き抜くと破損の原因となります。



コネクタの向きは機種
により異なります。

5 省電力

ご購入時には、一定時間パソコン本体を操作しないと自動的にディスプレイの表示を消したり、スタンバイするよう設定されています。

スタンバイ

スタンバイを使用すると、Windows を終了しないで節電できます。

実行中のプログラムやデータを、システム RAM (メモリ) に保持してパソコンの動作を中断させます。スタンバイ中は、電源ランプがオレンジ色に点灯します (→「各部名称」 - 「パソコン本体前面」 (→ P.18))。スタンバイ中は、わずかに電力を消費していて、電源は AC 電源から供給されます。

注意事項

- パソコンをお使いの状況によっては、スタンバイ、レジュームに時間がかかる場合があります。
- スタンバイにした後は、すぐにレジュームしないでください。必ず、10 秒以上たってからレジュームするようにしてください。
- 電源ボタンなどで本パソコンをスタンバイ状態に移行させても、まれにすぐにレジュームすることがあります。その場合には、いったんマウスを動かしてから、再びスタンバイ状態に移行させてください。
- 接続している周辺機器が正しく認識されていない場合、スタンバイにならないことがあります。
- スタンバイ時またはレジューム時に、一時的に画面が乱れる場合があります。
- 次の状態でスタンバイ状態に移行させると、スタンバイにならない、スタンバイからレジュームしない、レジューム後に正常に動作しない、データが消失するなどの問題が発生することがあります。
 - Windows の起動処理中または終了処理中
 - パソコンが何か処理をしている最中、および処理完了直後
 - ファイルアクセス中
 - ネットワークの通信中
 - サウンドや動画の再生中 (WAVE/AVI/MPEG) 形式のファイルの再生中
 - マウスの操作中
- ネットワーク環境によっては、省電力機能を使用できない場合があります。
- ネットワーク環境で LAN 着信によるレジューム機能 (Wake up on LAN 機能) を使用すると、ホストコンピュータまたは他のコンピュータからのアクセスにより、スタンバイ状態のコンピュータがレジュームする可能性があります。次の手順でタイマ値を設定することをお勧めします。なお設定値が 20 分より短いと、本パソコンがレジュームしてしまうことがあります。20 分以上の値に設定してください。
 1. 「電源オプションのプロパティ」 ウィンドウを表示します (→ P.49)。
 2. 「電源設定」 タブの「システムスタンバイ」を「20 分後」以上に設定します。

3. 「OK」をクリックして、すべてのウィンドウを閉じます。
- TCP/IP の設定で DHCP が有効の場合、スタンバイ状態移行時に DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスのリース期限が切れたとき、パソコン本体がリジュームすることがあります。
この場合は、DHCP サーバーの IP アドレスのリース期間を延長するか、または DHCP の使用を中止し固定 IP をご使用ください。
 - スタンバイへ移行させるとときは、手動（電源ボタンを押す、終了ウィンドウで「スタンバイ」を選択する（→ P.50）、などの操作）ではなく次のように設定することをお勧めします。この設定を行うと、ファイルアクセス中や通信中などに省電力状態になってしまふことを回避できます。
 - ・「電源設定」タブの「システムスタンバイ」で移行するまでの時間（例えば「30 分後」）を設定します。
 - スタンバイ状態に移行する際、「デバイスのドライバが原因でスタンバイ状態に入れません。ソフトウェアをすべて閉じてから、もう一度やり直してください。問題が解決しない場合は、そのドライバを更新することをお勧めします。」の警告ウィンドウが表示されて、スタンバイ状態に移行できない場合があります。これは、プログラムが動作中でスタンバイ状態に移行できない状態を示します。スタンバイ状態に移行させるためには、動作中のプログラムを終了してください。
 - ネットワーク環境下で省電力機能を使用する場合、次の条件下では、使用するプロトコルやソフトウェアによっては、不具合（スタンバイからの復帰時に正常に通信できないなど）が発生することがあります。
 - ・ネットワーク環境で通信中に、手動（電源ボタンを押す、終了ウィンドウで「スタンバイ」を選択する（→ P.50）、などの操作）によりスタンバイに移行した場合
 - 「電源オプションのプロパティ」 ウィンドウにある「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」の設定はネットワークに影響しません。
 - 周辺機器の取り付け／取り外しをする前に、パソコン本体の電源を切ってください。省電力に移行した状態では行わないでください。また、周辺機器によっては、パソコン本体の電源を切らなくても接続できるものもあります。
 - 本パソコンは、低レベルのスタンバイ（ACPI S1）をサポートしていません。お使いになる周辺機器が低レベルのスタンバイのみサポートしている場合は、本パソコンをスタンバイ状態にしないでください。

省電力の設定

■「電源オプションのプロパティ」 ウィンドウの表示

本パソコンの電源を管理することができます。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「電源オプション」をダブルクリックします。

「電源オプションのプロパティ」 ウィンドウが表示されます。

設定を変更した後は、「OK」をクリックして、すべてのウィンドウを閉じます。

■ 設定を変更する

お使いの状況に合わせて、各タブで設定を変更し、「適用」をクリックしてください。

□「電源設定」タブ

本パソコンの電源を入れた状態で一定時間使用しなかった場合に、省電力機能が働くまでの時間を設定します。

スタンバイ状態に移行するまでの時間は「システムスタンバイ」で設定してください。

□「詳細設定」タブ

電源ボタンを押したときの、パソコン本体の動作状態を設定します（ご購入時には、電源を切るようになっています）。

次のように設定できます。

- 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」
：電源ボタンを押したときの状態を設定できます。
- 「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」
：スタンバイ状態からリジュームするときにパスワードの入力を求めるメッセージを表示させる設定を行います。

□「休止状態」タブ

本パソコンは休止状態に対応していないため、設定することはできません。

スタンバイ状態にする

各項目での動作は「電源オプションのプロパティ」ウィンドウでの設定によります。スタンバイ状態にするには、次の方法があります。

■ シャットダウンメニューを使う

- 1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
「Windows のシャットダウン」ウィンドウが表示されます。

- 2 スタンバイを選択します。
しばらくするとスタンバイ状態になります。

■ 電源ボタンを使う

「電源オプションのプロパティ」ウィンドウでの設定により、電源ボタンを押したときにスタンバイ状態になります（→「省電力の設定」（→ P.49））。

※ 重要

- ▶ ご購入時には、電源ボタンを押すと電源を切るようになっています。
電源ボタンを使用してスタンバイ状態にするには、「電源オプションのプロパティ」ウィンドウからスタンバイになるように設定を変更してください。
詳しくは、「省電力の設定」（→ P.49）をご覧ください。

- 1 内蔵フラッシュメモリアクセスランプが点灯していないことを確認します。

2 電源ボタンを押します。

しばらくするとスタンバイ状態になります。

POINT

- ▶ 電源ボタンは4秒以上押さないでください。電源ボタンを4秒以上押すと、スタンバイ状態にならざるに本パソコンの電源が切断されます。作業中に電源が切断された場合、作成中のデータが失われることがあります。

スタンバイ状態からのレジューム

レジュームには、次の方法があります。

POINT

- ▶ 電源ボタンを押す方法以外でスタンバイ状態からレジュームさせると、Windowsの仕様により画面が表示されない場合があります。
- その場合は、キーボードかマウスから入力を行うと画面が表示されます。画面が表示されないままの状態で一定時間経過すると、本パソコンは再度スタンバイ状態に移行します。

■ 電源ボタンを使う

1 電源ボタンを押します。

しばらくすると、中断する前の画面が表示されます。

POINT

- ▶ 「電源オプションのプロパティ」ウィンドウ→「詳細設定」タブの「電源ボタン」の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を「シャットダウン」に設定した場合でも、スタンバイ状態で電源ボタンを押すとレジュームします。
- ▶ スタンバイ状態からレジュームする場合は、電源ランプがオレンジ色に点灯していることを確認してください。

■ LAN 着信によるレジューム (Wakeup on LAN)

他のコンピュータから本パソコンにコンピュータ検索が行われた場合などに、自動的にレジュームさせることができます。

ネットワーク環境下で Wakeup on LAN 機能を使用する場合は、次のように設定してください。

1 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。

2 「スタート」ボタン→「設定」→「ネットワーク接続」の順にクリックします。 「ネットワーク接続」が表示されます。

3 「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。 「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。

4 「構成」ボタンをクリックします。

「Realtek RTL8169/8110 Family Gigabit Ethernet NIC のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

5 「電源の管理」タブをクリックします。

6 次の2つの項目をチェックし、「OK」をクリックします。

- ・電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする
- ・このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする

■スマートカードによるレジューム

1 スマートカードをスマートカード専用スロットに差し込みます。

しばらくすると、中断する前の画面が表示されます。

POINT

- ▶ BIOS の「Power」—「Wake On Function」—「Wake-ON-SmartCard」から本機能の有効／無効を切り替えることができます。

第5章

ソフトウェア

本パソコンに搭載されているソフトウェアについて説明しています。

5

1 ソフトウェア一覧	54
2 ドライバ、ソフトウェアのインストールについて	57

1 ソフトウェア一覧

本パソコンには、次のソフトウェアが搭載されています。

搭載ソフト一覧

- 「Microsoft Windows XP Embedded with Service Pack 2」 (→ P.54)
- 「Internet Explorer」 (→ P.54)
- 「Microsoft IME スタンダード 2002」 (→ P.55)
- 「Windows Media Player」 (→ P.55)
- 「FMV 診断」 (→ P.55)
- 「Citrix Presentation Server クライアント (ICA クライアント)」 (→ P.55)
- 「リモートデスクトップ接続」 (→ P.55)
- 「SMARTACCESS/Premium」 (→ P.55)
- 「保護管理ツール」 (→ P.55)
- 「Portshutter」 (→ P.56)
- 「情報表示ツール」 (→ P.56)

各ソフトウェアの紹介

■ Microsoft Windows XP Embedded with Service Pack 2

Windows OS のコンポーネント化されたバージョンです。

本パソコンは、Microsoft Windows XP Embedded with Service Pack 2 (SP2) をベースに開発しており、シンクライアント用に最適化しております。

詳しくは、「Windows XP Embedded with Service Pack 2 について」 (→ P.12) をご覧ください。

■ Internet Explorer

WWW (World Wide Web) ブラウザです。

POINT

- ▶ 本パソコンでは、Citrix Presentation ServerのWebインターフェースでの使用を主な用途と想定しております。セキュリティの一元管理の観点からもインターネットの閲覧の場合は、「リモートデスクトップ接続」または、「Citrix Presentation Serverクライアント」を使用してのサーバー側Internet Explorerの使用をお勧めします。
- ▶ EWFシステムが無効で内蔵フラッシュメモリへの書き込みが解除された状態では、Internet Explorer よりファイルをデスクトップ上に保存できます。
- ▶ 通常は、「保護管理ツール」においてEWFシステムを有効にし、内蔵フラッシュメモリへの書き込みができないよう「保護設定」状態にしてご使用ください。

■ Microsoft IME スタンダード 2002

日本語入力変換ユーティリティです。

POINT

- ▶ 次の機能はご使用になれません。
IME パッドの「手書き」、「音声入力」機能、システム辞書の「郵便番号辞書」、「単漢字辞書」、「話し言葉・顔文字辞書」、「カタカナ語英語辞書」、「記号辞書」、「文字コード辞書」。

■ Windows Media Player

マルチメディアコンテンツ再生ソフトウェアです。

動画や音声の再生に使用できます。

■ FMV 診断

ハードウェアの故障箇所を診断します。

詳しくは、「診断プログラムを使用する」(→ P.85) をご覧ください。

■ Citrix Presentation Server クライアント (ICA クライアント)

Citrix Presentation Server に接続するソフトウェアです。

サーバー上でクライアント・ソフトウェアを動作させ、本パソコン上には画面情報のみを転送し表示させます。そのため、本パソコンでは実データを持ちません。

「プログラム」メニューでは「Citrix」→「Citrix Access クライアント」と登録されています。

■ リモートデスクトップ接続

ターミナルサーバー、または Windows XP Professional を実行しているほかのコンピュータに接続するソフトウェアです。

■ SMARTACCESS/Premium

スマートカード、指紋センサーを使用した、Windows ログオン認証などのセキュリティ機能があります。

※ 重要

- ▶ 本パソコンの本ソフトウェアには使用権はありません。
ご使用いただく場合は、別途ライセンスをご購入ください。

■ 保護管理ツール

各種設定を内蔵フラッシュメモリに書き込むためのソフトウェアです。管理者権限でのみご使用になります。

詳しくは、「保護管理ツールについて」(→ P.40) をご覧ください。

■ Portshutter

USBポートなどの接続ポートを無効にするソフトウェアです。不要な機器を接続させないことで、情報漏洩を防止できます。

詳しくは、添付の「リカバリディスク」にある「¥VALUEADD¥Portshut¥Portshut¥Manual¥操作マニュアル.pdf」をご覧ください。

重要

- ▶ パラレル／シリアルポートを無効化した場合、それらに接続されるオプション製品はお使いになれません。
- ▶ 無効に設定したポートは、機器を接続してもお使いになれません。
- ▶ USB は、接続許可する機器を登録し、それ以外の機器はすべて無効となる設定です。
 - ・すべての USB を無効にした場合、スマートカード専用スロットはお使いになれません。

■ 情報表示ツール

装置およびシステムの情報を表示します。

2 ドライバ、ソフトウェアのインストールについて

本パソコンに搭載されている OS では、フロッピードライブや CD/DVD ドライブはご使用になれません。

ドライバやソフトウェアを本パソコンにインストールするときは、PC メモリカードや CF メモリカード、USB メモリに必要となるファイルをコピーしてから本パソコンにセットし、インストールをしてください。

インストールする際のセットアッププログラムの起動は、次の手順で設定してください。

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

cmd. exe

「コマンドプロンプト」が起動します。

3 インストールするドライバやソフトウェアのセットアップを起動します。

また、ファイルのコピー元を指定するウィンドウが表示された場合、「参照」ボタンを使用してドライブやパスを指定することはできません。ドライブ名とパスを直接入力してください。

リカバリディスクについて（格納ドライバとソフトウェア）

リカバリディスクには次のソフトウェアが格納されています。

● Portshutter

● ユーザー辞書ユーティリティ

Windows パソコンを使用してリカバリディスクを CD/DVD ドライブにセットすると、格納されているリストが表示されます。

本パソコンでは CD/DVD ドライブは使用できませんが、Windows パソコンより USB メモリなどのストレージ媒体を経由することで本パソコンへのインストールが可能になります。

1 本パソコンでインストーラを起動するためのストレージ媒体を用意します。

・PC メモリカード、CF メモリカード、または USB メモリ

2 次のものが使用できる Windows パソコンを用意します。

・CD/DVD ドライブ
・お使いになるストレージ媒体に合ったスロット

3 Windows パソコンに、リカバリディスクとストレージ媒体をセットします。

4 インストールに使用するドライバやソフトウェアのフォルダを、リカバリディスクからストレージ媒体にコピーします。

- 5 コピーが完了したら、ストレージ媒体を本パソコンにセットします。
- 6 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 7 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
cmd.exe
「コマンドプロンプト」が起動します。
- 8 インストールするドライバやソフトウェアのセットアップを起動します。

■ リカバリディスク内のフォルダ構成

□ Portshutter

- コピーフォルダ
¥VALUEADD¥Portshut¥Portshutter
- セットアッププログラム
setup.exe

□ Portshutter（更新プログラム）

- コピーフォルダ
¥VALUEADD¥Portshut¥update
- セットアッププログラム
update3.exe

※ 重要

▶ 「Portshutter」をインストールした後に、この更新プログラムをインストールしてください。

□ ユーザー辞書ユーティリティ

- 使い方については、コピーフォルダ内の「Readme.txt」をご覧ください。
- コピーフォルダ
¥VALUEADD¥FJTools

第 6 章

BIOS

BIOS セットアップというプログラムについて説明しています。また、本パソコンのデータを守るためにパスワードを設定する方法について説明しています。

1 BIOS セットアップとは	60
2 BIOS セットアップの操作のしかた	61
3 メニュー詳細	64
4 BIOS のパスワード機能を使う	71
5 BIOS が表示するメッセージ一覧	74

1 BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、本パソコンの環境を設定するためのプログラムです。本パソコンご購入時は、すでに最適なハードウェア環境に設定されています。通常の使用状態では、BIOS セットアップで環境を設定（変更）する必要はありません。

BIOS セットアップの設定は、次の場合などに行います。

- 特定の人だけが本パソコンを使用できるように、パスワード（暗証番号）を設定するとき
- 起動時の自己診断（POST）で BIOS セットアップに関するエラーメッセージが表示されたとき

重要

- ▶ BIOS セットアップの設定項目の詳細については、BIOS セットアップ画面（→ P.61）の「項目ヘルプ」をご覧ください。

POINT

- ▶ BIOS セットアップで設定した内容は、パソコン本体内部の CMOS RAM と呼ばれるメモリに記憶されます。この CMOS RAM は、バックアップ用バッテリによって記憶した内容を保存しています。BIOS セットアップを正しく設定しても、内容が保存されない場合は、バックアップ用バッテリが消耗して、CMOS RAM に設定内容が保存されていないことがありますので、「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。
- ▶ 起動時の自己診断中は不用意に電源を切らないでください。
- ▶ 起動時の自己診断（POST）
本パソコンの電源を入れたときや再起動したときに、ハードウェアの動作に異常がないかどうか、どのような周辺機器が接続されているかなどを自動的に調べます。これを「起動時の自己診断」（POST : Power On Self Test）といいます。

2 BIOS セットアップの操作のしかた

BIOS セットアップを起動する

1 作業を終了してデータを保存します。

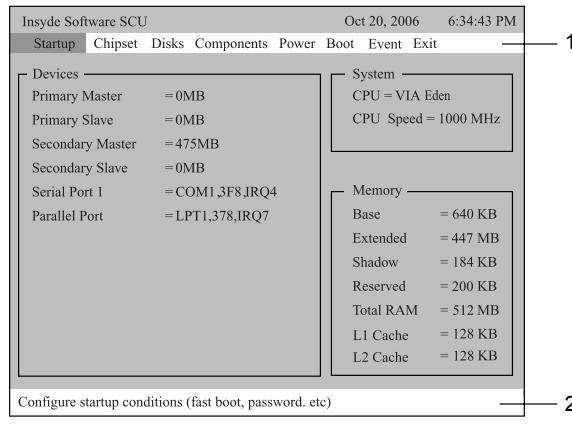
2 本パソコンを再起動します。

3 画面に「FUJITSU」ロゴが表示されたら、約 1 秒後に【F2】キーを押します。
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して【Enter】キーを押してください（→ P.73）。

BIOS セットアップ画面が表示されます。

POINT

- ▶ BIOS セットアップがうまく起動できない場合は、本パソコンの電源を入れたあとすぐに【F2】キーを連続して押してください。
また、BIOS セットアップの「Splash Boot Logo」が「_ (無効)」に設定されている場合は、「Initialize USB devise. Done!」と表示されたら【F2】キーを押してください。
なお、「Fast Boot」が「✓ (有効)」の場合は、瞬時に Windows 起動画面に移行しますので、同様に本パソコンの電源を入れた後、【F2】キーを数回連続して押してください。



(画面は状況により異なります)

1. メニューバー
メニューの名称が表示されます。
2. ヘルプフィールド
カーソルを合わせた項目の説明が表示されます。

設定を変更する

BIOS セットアップは、キーボードを使ってすべての操作を行います。

- 1 【←】【→】キーを押して、設定を変更したいメニューにカーソルを合わせます。
- 2 【↑】【↓】キーを押して、設定を変更したい項目にカーソルを合わせます。
サブメニューがある項目にカーソルを合わせ、【Enter】キーを押すと、サブメニューが表示されます。
- 3 【↑】【↓】キーまたは【Space】キーを押して、設定を変更します。
さらに他のメニューの設定を変更したいときは、手順 1 から繰り返します。
なお、サブメニューを表示していた場合は、【Esc】キーを押すと 1 つ前の画面に戻ります。

POINT

- ▶ 「OK」「Cancel」などを選択する場合、ボタンが  OK  のように、▶◀で文字が囲まれている状態が、選択状態です。また  OK のような状態は非選択の状態です。

BIOS セットアップを終了するときは、「BIOS セットアップを終了する」(→ P.63) をご覧ください。

各キーの役割

BIOS セットアップで使うキーの役割は次のとおりです。

キー	役割
【Esc】キー	「Exit」メニューが表示されます。 サブメニューが表示されている場合は、1 つ前の画面が表示されます。
【Enter】キー	次のことを行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・サブメニューがある項目にカーソルを合わせて【Enter】キーを押すと、サブメニューが表示されます。 ・サブメニューがない項目は【Enter】キーを押すと有効／無効を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ : 有効 — : 無効 メニューの左側に記号が表示されます。
【Space】キー	設定値にカーソルを合わせて【Space】キーを押すと、設定値の一覧が表示され、設定値を選択できます。
【←】【→】キー	メニューを切り替えます。
【↑】【↓】キー	次のことを行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・設定する項目にカーソルを移動します。 ・各項目の設定値を変更します。
【Tab】キー	サブメニュー内で項目を移動します。

キー	役割
【PageUp】	起動優先順位を変更します（→ P.69）。
【PageDown】キー	

BIOS セットアップを終了する

- 1 「Exit」メニューを表示します。
【Esc】キーまたは【←】【→】キーを押してください。
- 2 【↑】【↓】キーを押して終了方法を選び、【Enter】キーを押します。
終了方法は、「Exit メニュー」（→ P.70）をご覧ください。
- 3 メッセージの下に▶ OK ◀が表示されていることを確認し、【Enter】キーを押します。
BIOS セットアップが終了します。

POINT

- ▶ ボタンが「キャンセル」の状態▶ Cancel ◀になっているときは、OK にカーソルを合わせてから【Enter】キーを押します。

3 メニュー詳細

■ 重要

- ▶ BIOS セットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

Startup メニュー

Startup メニューでは、日時および本パソコンの起動時の動作についての設定を行います。また、本パソコンを特定の人だけが使用できるように設定を行います。

■ 設定項目の詳細

□ Date and Time

年月日を設定します。

カーソルを合わせて【Enter】キーを押すと、サブメニューが表示されます。【Tab】キーを押して、設定する項目を選択します。

- **Day**…日を設定します。キーボードから数値を入力します。
- **Month**…月を設定します。キーボードから数値を入力します。
- **Year**…年（西暦）を設定します。キーボードから数値を入力します。
- **Hour**…時（24 時間制）を設定します。キーボードから数値を入力します。
- **Minute**…分を設定します。キーボードから数値を入力します。
- **Second**…秒を設定します。キーボードから数値を入力します。

□ Splash Boot Logo

【Enter】キーを押して、本パソコンの起動時または再起動時に「FUJITSU」ロゴを表示するかどうかを設定します。

- ・ (有効) (ご購入時) …本パソコンの起動時または再起動時に「FUJITSU」ロゴを表示します。
- ・ (無効) …本パソコンの起動時または再起動時に「FUJITSU」ロゴを表示しません。

□ Fast Boot

【Enter】キーを押して、起動時に自己診断（POST）を簡略化するかどうかを設定します。

- ・ (有効) (ご購入時) …起動時に自己診断（POST）を簡略化します。
- ・ (無効) …起動時に自己診断（POST）を簡略化しません。

□ Set Admin password

【Enter】キーを押して、管理者用パスワードを設定、または変更します。

◀ 重要

- ▶ 管理者用パスワードを忘れるとき、BIOS セットアップを管理者権限で起動することができなくなります。「パスワードを忘れてしまったら」(→ P.71) をご覧ください。

POINT

- ▶ 「Set Admin password」を設定すると、BIOS セットアップの起動時にパスワード入力を要求されます。このときに、誤ったパスワードを 3 回入力すると、ビープ音が鳴り、「System Disabled」と表示され、本パソコンはキーボードからの入力に反応しなくなります。この場合、本パソコンの電源ボタンを押して電源を切り、10 秒以上待ってから電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

□ Set User password

【Enter】キーを押して、ユーザー用パスワードを設定します。

POINT

- ▶ 「Set Admin password」が設定されていないと「Set User password」は設定できません。
- ▶ 「Set User password」を設定すると、一般利用者が BIOS セットアップで変更できる項目を制限できます。

□ Set Boot Password

「Set Admin Password」が設定されている場合に設定できます。本パソコンの起動時にパスワードの入力要求の有無を設定します。

- ・ ✓ (有効)
- ・ — (無効)

□ SCU Color Scheme

【Enter】キーを押して、BIOS セットアップ画面の色を設定します。【Tab】キーを押して、「Select Color」を選択し、【↑】【↓】キーで色を選択します。

- ・ Color (ご購入時)
- ・ Alternate Color
- ・ Black and White
- ・ Reverse Black and White

Chipset メニュー

Chipset メニューでは、メモリについての設定を行います。

■ 設定項目の詳細

□ Cache Systems

本設定は変更しないでください。

□ Shared Memory

【Enter】キーを押して、メインメモリと共に VRAM 領域を設定します。

- 16MB
- 32MB
- 64MB (ご購入時)

□ USB Supports by BIOS

BIOS で USB 規格の周辺機器を使用可能にするかどうかを設定します。

- (有効) (ご購入時)
- (無効)

□ On Board Device Selector

【Enter】キーを押して、内蔵デバイス（オーディオコーデック）を無効にするかどうかを設定します。

- Enable AC97…内蔵 AC97 オーディオコーデックを無効にするかどうかを設定します。
 - Enable (ご購入時)
 - Disable

Disks メニュー

Disks メニューの設定は変更しないでください。

■ 設定項目の詳細

□ Internal HDC

本設定は変更しないでください。

□ IDE Settings

本設定は変更しないでください。

Components メニュー

Components メニューでは、周辺機器などの設定を行います。

■ 設定項目の詳細

□ COM Ports

シリアルポートの I/O ポートアドレスと割り込み番号を設定します。

- Disable
- COM1,3F8,IRQ4 (ご購入時)
- COM2,2F8,IRQ3
- COM3,3E8,IRQ5
- COM4,2E8,IRQ6

□ LPT Port

【Enter】キーを押して、パラレルポートを設定します。

- Port Address…パラレルポートの I/O ポートアドレスと割り込み番号を設定します。
 - None
 - LPT1, 378, IRQ 7 (ご購入時)
 - LPT2, 278, IRQ 5
 - LPT3, 3BC, IRQ 7
- Port Definition…パラレルポートの動作モードを設定します。
 - Standard ATA(Centronics) : 標準 ATA モードを使う周辺機器を接続するときに選択します。
 - Bidirectional (PS-2) : 双方向モードを使う周辺機器を接続するときに選択します。
 - Enhanced Parallel (EPP) : EPP 規格の周辺機器を接続するときに選択します。
 - Extended Capabilities (ECP) (ご購入時) : ECP 規格の周辺機器を接続するときに選択します。
- DMA Setting for ECP Mode…「Port Definition」を「Extended Capabilities (ECP)」に設定したときに表示されます。ECP 規格の周辺機器を接続する場合に使う DMA チャネルを設定します。
 - DMA1
 - DMA3 (ご購入時)

□ Keyboard Numlock

【Enter】キーを押して、起動時または再起動時にキーボードのテンキーを NumLock 状態にするかどうかを設定します。NumLock 状態にすると、テンキーから数字を入力できます。

- √ (有効) …キーボードを NumLock 状態にします。
- __ (無効) (ご購入時) …キーボードを NumLock 状態にしません。

POINT

▶ Windows の起動後は Windows で設定した NumLock 状態に戻ります。

□ Keyboard Detection

PS/2 規格のキーボードが接続されていない場合に起動しないように設定します。

- √ (有効)
- __ (無効)

□ Keyboard Repeat

【Enter】キーを押して、キーボードのリピート機能について設定します。キーリピートの頻度およびキーリピートまでの時間を設定します。

● Key Repeat Rate

- ・ 2 cps
- ・ 6 cps
- ・ 10 cps (ご購入時)
- ・ 15 cps
- ・ 20 cps
- ・ 30 cps

● Key Delay

- ・ 1/4 sec
- ・ 1/2 sec (ご購入時)
- ・ 3/4 sec
- ・ 1 sec

POINT

- ▶ Windows の起動後は Windows で設定したキーリピート状態に戻ります。

Power メニュー

Power メニューでは、省電力モードについての設定を行います。

省電力モードは、本パソコンの電源を入れた状態で一定時間使わなかった場合に、消費する電力を減らして待機する機能です。

■ 設定項目の詳細

□ Wake On Function

サブメニューを使って自動的に起動、またはスタンバイ状態からの復帰に関する設定を行います。カーソルを合わせて【Enter】キーを押すと、サブメニュー画面が表示されます。

● Wake-ON-LAN

- 内蔵 LAN が Magic Packet を受信した時に本パソコンの電源を入れるかどうか設定します。
- ・ Disabled : Magic Packet を受信しても電源を入れません (ご購入時)。
 - ・ Enabled : Magic Packet を受信すると電源を入れます。

● Wake-ON-SmartCard

- スマートカードを挿入したときに、本パソコンの電源を入れるかどうか設定します。
- ・ Disabled : スマートカードを挿入しても電源を入れません。
 - ・ Enabled : スマートカードを挿入すると電源を入れます (ご購入時)。

□ Set Power Failure

停電などで電源が切断された場合に、通電時の再開する動作を設定します。

- ・ Default On : 通電すると電源が入ります。
- ・ Default Off : 通電しても電源が切れた状態です (ご購入時)。
- ・ Last State : 電源が切断された時の状態に戻ります。

Boot メニュー

Boot メニューでは、起動時の動作について設定を行います。

■ 設定項目の詳細

□ Boot Sequence

OS を読み込むデバイスの優先順位を設定します。画面に表示される現状の起動優先順が表示からデバイスを選択し、【PageUp】【PageDown】キーを押して起動優先順位を設定します。

- ・ご購入時の設定: Floppy > Hard Disk (内蔵フラッシュメモリ) > CD-ROM > PXE (ネットワークブート)

□ FDD Sequence

検出した FDD デバイスから、起動優先順位を設定します。

□ HDD Sequence

検出した HDD デバイス (内蔵フラッシュメモリを含む) から、起動優先順位を設定します。

□ CD-ROM Sequence

検出した CD-ROM デバイスから、起動優先順位を設定します。

Event メニュー

Event メニューでは、イベントログについての設定を行います。

■ 設定項目の詳細

□ Clear Event Log

【Enter】キーを押して、再起動時にイベントログをクリアする機能を設定します。

- ・√ (有効)
- ・__ (無効) (ご購入時)

POINT

- ▶ 一度有効にしてイベントログをクリアしても、再起動後は無効となるため、再起動後のイベントが保存されます。

□ Show Event Log

【Enter】キーを押して、イベントログを閲覧します。上下のページに移動するには「Page Up」「Page Down」を選択して【Enter】キーを押します。

Exit メニュー

Exit メニューでは、設定値の保存や読み込み、BIOS セットアップの終了などを行います。

■ 設定項目の詳細

Save and Exit

設定した内容を CMOS RAM に保存して BIOS セットアップを終了するときに選びます。

この項目にカーソルを合わせて【Enter】キーを押すと、「Press <OK> to save the current setup parameters to CMOS RAM. The computer will be rebooted !!!」というメッセージが表示されます。「OK」を選択し、【Enter】キーを押してください。

Exit (No Save)

設定した内容を CMOS RAM に保存しないで BIOS セットアップを終了するときに選びます。

設定を変更している場合、この項目にカーソルを合わせて【Enter】キーを押すと、「Press <OK> to Exit the SCU. The current settings will not be saved !!!」というメッセージが表示されます。「OK」を選択し、【Enter】キーを押してください。

「Cancel」を選択すると、BIOS セットアップ画面に戻ります。

Default Settings

すべての設定項目を標準設定値にするときに選びます。

この項目にカーソルを合わせて【Enter】キーを押すと、「Do you wish to change the current setup to the system default values?」というメッセージが表示されます。「OK」を選択し、【Enter】キーを押してください。

Restore Settings

設定を前回保存した設定の値に戻すときに選びます。

この項目にカーソルを合わせて【Enter】キーを押すと、「Do you wish to restore the current setup to the previous custom values?」というメッセージが表示されます。「OK」を選択し、【Enter】キーを押してください。

Version Info

この項目にカーソルを合わせて【Enter】キーを押すと、BIOS のバージョン情報を表示します。

4 BIOS のパスワード機能を使う

本パソコンのデータを守るためにパスワード機能を説明します。

本パソコンは、他人による不正使用を防止するために、パスワードを設定できます。パスワードを設定すると、正しいパスワードを知っている人以外は本パソコンを使えなくなります。

パスワードの種類

本パソコンで設定できるパスワードは次の2つです。

入力するパスワードにより、本パソコン操作の権限が区別されます。

● Admin Password (管理者用パスワード)

特定の人だけが、BIOS セットアップや OS を起動できるようにするためのパスワードです。
パスワード機能を使う場合は、必ず設定してください。

● User Password (ユーザー用パスワード)

特定の人だけが BIOS セットアップや OS を起動できるようにするためのパスワードです。
「Admin Password」が設定されている場合に設定できます。
User Password で起動した場合、設定できる項目が制限されます。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードは、管理者用パスワードが設定されているときのみ設定できます。
- ▶ 管理者用パスワードが削除された場合、ユーザー用パスワードも削除されます。

パスワードを忘れてしまったら

管理者用パスワードを忘れるとき、パスワード機能を解除できなくなり、修理が必要になります。
設定したパスワードを忘れないように何かに書き留め、安全な場所に保管しておくことをお勧めします。
なお、管理者用パスワードを忘れてしまった場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。保証期間にかかるわらず修理は有償となります。

パスワードの管理には充分注意してください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードを忘れた場合
ユーザー用パスワードを忘れた場合は、修理の必要はありません。パソコンの管理者に管理者用パスワードをいったん削除してもらった後、管理者用パスワード、ユーザー用パスワードの順にパスワードを設定し直してください。

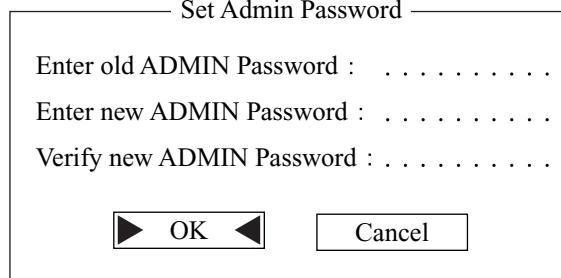
パスワードを設定する

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードを設定する前に、管理者用パスワードを設定してください。

- 1 「Set Admin Password」、または「Set User Password」にカーソルを合わせ、【Enter】キーを押します。**

パスワード入力用のウィンドウが表示されます。



- 2 「Enter new ADMIN Password」に 10 衝までのパスワードを入力します。**

パスワードを変更する場合も、新しいパスワードを入力してください。

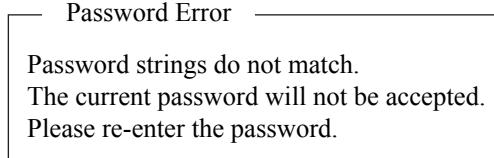
入力できる文字種はアルファベットと数字です。入力した文字は表示されず、代わりに * が表示されます。

- 3 パスワードを入力したら【Enter】キーを押します。**

- 4 「Verify new ADMIN Password」に手順 2 で入力したパスワードを再入力し、【Enter】キーを押します。**

- 5 「OK」を選択し、【Enter】キーを押します。**

再入力したパスワードが間違っていた場合は、次のメッセージが表示されます。もう一度、手順 1 から操作してください。



- 6 BIOS セットアップを終了します。**

「BIOS セットアップを終了する」(→P.63)

POINT

- ▶ 設定したパスワードは、忘れないように何かに書き留め、安全な場所に保管しておくことをお勧めします。

■ パスワード設定後のパソコンの起動

パスワードを設定すると、OS 起動時や BIOS セットアップ起動時に、パスワードの入力ウィンドウが表示されます。

Enter Password:

管理者用パスワード、またはユーザー用パスワードを入力し、【Enter】キーを押してください。なお、ユーザー用パスワードを入力した場合は、設定を制限されるものがあります。

POINT

- ▶ 誤ったパスワードを 3 回入力すると、ビープ音が鳴りシステムが停止します。その場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切り、10 秒以上待ってからもう一度電源を入れて、正しいパスワードを入力してください。

パスワードを変更／削除する

■ パスワードを変更する

パスワードを変更するには、「Set Admin Password」または「Set User Password」の項目で、現在のパスワードと新しいパスワードを入力、確認します。

■ パスワードを削除する

パスワードを削除するには、「Set Admin Password」または「Set User Password」の項目で、現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを入力しないで【Enter】キーを押します。

5 BIOS が表示するメッセージ一覧

本パソコンの BIOS メニュー内の EventLog に表示されるエラーメッセージの対処方法を説明します。必要に応じてお読みください。

メッセージが表示されたときは

「メッセージ一覧」(→P.74) に記載の処置や次の処置をしてください。

- BIOS セットアップを実行する
BIOS セットアップに関するエラーメッセージが表示された場合は、BIOS セットアップを再実行してください。
- 周辺機器の取り付けを確認する
周辺機器を取り付けている場合には、すべての周辺機器を取り外し、パソコン本体をご購入時の状態にして動作を確認してください。

処置を実施しても、まだエラーメッセージが発生する場合は、本パソコンが故障している可能性があります。「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

メッセージ一覧

本パソコンが表示するメッセージの一覧は、次のとおりです。

- Log Area Reset/Cleared
イベントログがクリアされました。
- Password Failure
パスワードを 3 回連続で間違えました。
- POST Error: CMOS Checksum Error
CMOS のチェックサムが正しくありません。
- POST Error: CMOS Battery Failure
CMOS バックアップバッテリの電圧低下を検出しました。
- POST Error : Keyboard Not Functional
キーボードが検出されませんでした。
- System Reconfiguration
システム設定が変更されました。

POINT

- ▶ 本書に記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

第7章

技術情報

本パソコンの仕様などを記載しています。

1 仕様一覧	76
2 コネクタ仕様	77

1 仕様一覧

本体仕様

製品名称		FMV-TC5230
CPU ^{注1}		VIA 社製 Eden™ 1GHz
キャッシュメモリ		1 次 128KB +2 次 128KB (CPU 内蔵)
チップセット		VIA 社製 CN700
システム・バス		333MHz
メインメモリ		標準／最大 512MB (200 ピン PC2700 DDR SDRAM DIMM) ECC なし
メモリスロット		× 1 (空きスロット × 0)
表示機能	グラフィックアクセラレータ	チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	16 ~ 64MB (標準設定 64MB) (メインメモリと共用)
	ビデオ出力信号	ビデオ：アナログ RGB、同期信号：TTL コンパチブル
	解像度／発色数	最大 1600 × 1200 ドット、最大 1677 万色
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック
	MIDI 再生機能	ご使用になれません
通信機能	LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠、Wake up on LAN 対応 ^{注5}
インターフェース	ディスプレイ	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン
	シリアル	非同期 RS-232C 準拠 D-SUB9 ピン × 1 (16550A 互換)
	パラレル	セントロニクス準拠 ECP/EPP 対応 D-SUB25 ピン × 1
	キーボード／マウス	PS/2 準拠 Mini-DIN 6 ピン (キーボード用 × 1、マウス用 × 1)
	USB ^{注2}	USB2.0 準拠 × 4 (前面 × 2、背面 × 2)
	LAN	RJ-45 × 1
	オーディオ	マイク端子：φ3.5mm ミニジャック ^{注6} (入力：100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 5kΩ 以上 (DC) 2kΩ 以上)、 ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω)、 ラインアウト：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック
電源／周波数		AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2% - 4%
消費電力	電源 OFF 時 ^{注3}	1.4W 以下
	動作時 ^{注4}	通常約 19W 最大約 49W スタンバイ時約 1.8W
定格電流	動作時	最大 0.8A
外形寸法 (突起部含まず)		W48 × D177 × H246mm、 W110 × D180 × H248mm (スタンド装着時)
質量		約 1.9Kg (スタンド含まず)
盗難防止用ロック		あり
温湿度条件		温度 10 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80% RH (動作時)、 温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 80% RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)
プレインストール OS		Microsoft® Windows® XP Embedded with Service Pack 2

本パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

注について

注 1：ソフトウェアによっては、CPU 名表記が異なる場合があります。

注 2：すべての USB 対応周辺機器について動作保証するものではありません。

・USB1.1 準拠の周辺機器を接続している場合、USB1.1 準拠の仕様でお使いになれます。

・外部から電源を取らない USB 機器を接続するときの消費電流の最大容量は、1 ポートにつき 500mA です。詳しくは、USB 機器のマニュアルをご覧ください。

注 3：電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

注 4：ご使用になる機器構成により値は変動します。

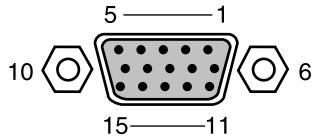
注 5：ご購入時の BIOS 設定は「使用しない」になります。

注 6：Citrix Presentation Server の Advanced Edition、または Enterprise Edition のみで使用できます。

2 コネクタ仕様

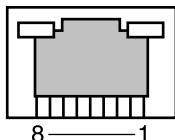
各コネクタのピンの配列および信号名は、次のとおりです。

■ ディスプレイコネクタ



ピン番号	信号名	方向	説明
1	RED	出力	赤出力
2	GREEN	出力	緑出力
3	BLUE	出力	青出力
4	NC	—	未接続
5 ~ 8	GND	—	グラウンド
9	+5V	—	+5V
10	GND	—	グラウンド
11	NC	—	未接続
12	SDA	入出力	データ
13	H SYNC	出力	水平同期信号
14	V SYNC	出力	垂直同期信号
15	SCL	入出力	データクロック

■ LAN コネクタ (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)



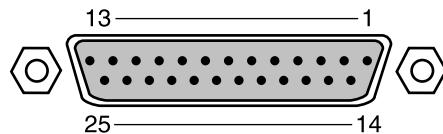
□ 1000BASE-T

ピン番号	信号名	方向	説明
1	TRD0+	入出力	送受信データ 0+
2	TRD0-	入出力	送受信データ 0-
3	TRD1+	入出力	送受信データ 1+
4	TRD2+	入出力	送受信データ 2+
5	TRD2-	入出力	送受信データ 2-
6	TRD1-	入出力	送受信データ 1-
7	TRD3+	入出力	送受信データ 3+
8	TRD3-	入出力	送受信データ 3-

□ 100BASE-TX/10BASE-T

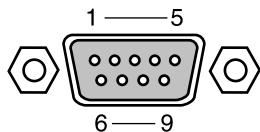
ピン番号	信号名	方向	説明
1	TD+	出力	送信データ +
2	TD-	出力	送信データ -
3	RD+	入力	受信データ +
4	NC	—	未接続
5	NC	—	未接続
6	RD-	入力	受信データ -
7	NC	—	未接続
8	NC	—	未接続

■ パラレルコネクタ



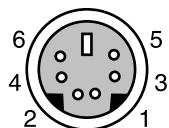
ピン番号	信号名	方向	説明
1	* STROBE	入出力	ストローブ
2	DATA 0	入出力	データ 0
3	DATA 1	入出力	データ 1
4	DATA 2	入出力	データ 2
5	DATA 3	入出力	データ 3
6	DATA 4	入出力	データ 4
7	DATA 5	入出力	データ 5
8	DATA 6	入出力	データ 6
9	DATA 7	入出力	データ 7
10	* ACK	入力	アクノリッジ
11	BUSY	入力	ビジー
12	PE	入力	用紙切れ
13	SELECT	入力	セレクト
14	* AUTOFD	出力	自動送り
15	* ERROR	入力	エラー
16	* INIT	出力	初期化
17	SLCTIN	出力	セレクト
18 ~ 25	GND	—	グランド

■ シリアルコネクタ



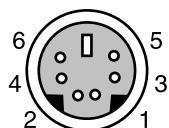
ピン番号	信号名	方向	説明
1	CD	入力	キャリア検出
2	RD	入力	受信データ
3	TD	出力	送信データ
4	DTR	出力	データ端末レディ
5	GND	—	グランド
6	DSR	入力	データセットレディ
7	RTS	出力	送信要求
8	CTS	入力	送信可
9	RI	入力	リングインジケート

■ マウスコネクタ



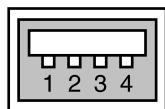
ピン番号	信号名	方向	説明
1	DATA	入出力	データ
2	NC	—	未接続
3	GND	—	グランド
4	VCC	—	電源
5	CLK	入出力	クロック
6	NC	—	未接続

■ キーボードコネクタ



ピン番号	信号名	方向	説明
1	DATA	入出力	データ
2	NC	—	未接続
3	GND	—	グランド
4	VCC	—	電源
5	CLK	入出力	クロック
6	Reserved	—	本パソコン固有の記号が割り付けられています

■ USB コネクタ



ピン番号	信号名	方向	説明
1	VCC	—	ケーブル・電源
2	-DATA	入出力	- データ信号
3	+DATA	入出力	+ データ信号
4	GND	—	ケーブル・グランド

第8章

トラブルシューティング

おかしいなと思ったときや、わからないことが
あったときの対処方法について説明していま
す。

1	トラブルに備えて	82
2	トラブル発生時の基本操作	84
3	起動・終了時のトラブル	86
4	Windows、ソフトウェア関連のトラブル	88
5	ハードウェア関連のトラブル	89
6	それでも解決できないときは	95

1 トラブルに備えて

テレビ／ラジオなどの受信障害防止について

本パソコンは、テレビやラジオなどの受信障害を防止するVCCIの基準に適合しています。しかし、設置場所によっては、本パソコンの近くにあるラジオやテレビなどに受信障害を与える場合があります。このような現象が生じても、本パソコンの故障ではありません。

テレビやラジオなどの受信障害を防止するために、次のような点に注意してください。

■ 本パソコンの注意事項

- 周辺機器と接続するケーブルは、指定のケーブルを使い、それ以外のケーブルは使わないでください。
- ケーブルを接続する場合は、コネクタが確実に固定されていることを確認してください。また、ネジなどはしっかりと締めてください。
- 本パソコンの電源ケーブルは、テレビやラジオなどを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。

■ テレビやラジオなどの注意事項

- テレビやラジオなどを、本パソコンから遠ざけて設置してください。
- テレビやラジオなどのアンテナの方向や位置を変更して、受信障害を生じない方向と位置を探してください。
- テレビやラジオなどのアンテナ線の配線ルートを、本パソコンから遠ざけてください。

本パソコンや周辺機器などが、テレビやラジオなどの受信に影響を与えるかどうかは、本パソコンや周辺機器など全体の電源を切ることで確認できます。

テレビやラジオなどに受信障害が生じている場合は、前述の項目を再点検してください。

それでも改善されない場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

ドキュメントの確認

周辺機器の取り付けを行う場合は、製品に添付されているドキュメントを読み、次の点を確認してください。

- ハードウェア／ソフトウェア要件
使用したい周辺機器やソフトウェアが本パソコンのハードウェア構成や Windows XP Embedded で使用できるか確認します。
- 取り付け時やインストール時に注意すべき点
特に「Readme.txt」や「Install.txt」などのテキストファイルがある場合は、マニュアルに記述できなかった重要な情報が記載されている場合があります。忘れずに目を通してください。

また、製品添付のドキュメントだけではなく、Web 上の情報もあわせて確認してください。ベンダーの Web サイトからは、次のような情報やプログラムを得ることができます。

- 製品出荷後に判明した問題などの最新情報
 - 問題が解決されたドライバやソフトウェアの修正モジュール
- 弊社の富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html) でも、本パソコンに関連したサポート情報やドライバを提供しておりますので、ご覧ください。

2 トラブル発生時の基本操作

本パソコンや周辺機器の電源を確認する

電源が入らない、画面に何も表示されない、ネットワークに接続できない、などのトラブルが発生したら、まず本パソコンや周辺機器の電源が入っているか確認してください。

- 電源ケーブルや周辺機器との接続ケーブルは正しいコネクタに接続されていますか？またゆるんだりしていませんか？
 - 電源コンセント自体に問題はありませんか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
 - OA タップを使用している場合、OA タップ自体に問題はありませんか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
 - 使用する装置の電源スイッチはすべて入っていますか？
ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（サーバー本体やハブなど）の接続や電源も確認してください。
 - キーボードの上に物を載せていませんか？
キーが押され、本パソコンが正常に動作しないことがあります。
- この他、「電源が入らない」（→ P.86）、「画面に何も表示されない」（→ P.86）もあわせてご覧ください。

以前の状態に戻す

周辺機器の取り付けやソフトウェアのインストールの直後にトラブルが発生した場合は、いつたん以前の状態に戻してください。

- 周辺機器を取り付けた場合は、取り外します。
- ソフトウェアをインストールした場合は、アンインストールします。

その後、製品に添付されているマニュアル、「Readme.txt」などの補足説明書、Web 上の情報を確認し、取り付けやインストールに関して何か問題がなかったか確認してください（→ P.82）。

発生したトラブルに該当する記述があれば、ドキュメントの指示に従ってください。

Safe モード

本機能は、Windows XP Embedded では、ご使用になれません。

メッセージなどが表示されたらメモしておく

画面上にメッセージなどが表示されたら、メモしておいてください。マニュアルで該当する障害を検索する際や、お問い合わせの際に役立ちます。

診断プログラムを使用する

本パソコンでは、パソコン診断プログラムとして「FMV 診断」を用意しています。

「FMV 診断」ではハードウェアの障害箇所を診断できます。

管理者権限を持ったアカウントで実行してください。

POINT

- ▶ 起動中のソフトウェアや常駐プログラムはすべて終了してください。
- ▶ スクリーンセーバーは「なし」に設定してください。
- ▶ ネットワーク機能の診断を行う場合は、あらかじめ固定 IP を設定しておいてください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「FMV 診断」の順にクリックします。

この後はメッセージに従って操作します。

リカバリ

トラブル発生時の基本操作をした後も回復しない場合には、リカバリを実行します。

リカバリの方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

■ リカバリ後も状態が改善されない場合は

リカバリ後も状態が改善されない場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元に連絡してください。

3 起動・終了時のトラブル

■ メッセージが表示された

電源を入れた後の自己診断（POST）時に、画面にメッセージが表示される場合があります。メッセージ内容と意味については、「BIOS」－「BIOS が表示するメッセージ一覧」（→ P.74）をご覧ください。

■ 電源が入らない

- 電源ケーブルは接続されていますか？
接続を確認してください。
- 電源スイッチ付きの AC タップをお使いの場合、AC タップの電源は入っていますか？

■ 画面に何も表示されない

- パソコン本体の電源は入っていますか？
- ディスプレイに関して次の項目を確認してください。
 - ・電源スイッチは入っていますか？
 - ・ディスプレイケーブルは、正しく接続されていますか？
 - ・ディスプレイケーブルのコネクタのピンが破損していませんか？
 - ・ディスプレイの電源ケーブルは、コンセントに接続されていますか？
 - ・ディスプレイのブライトネス／コントラストボリュームは、正しく調節されていますか？
- パソコン本体の電源を入れる前に、ディスプレイの電源を入れていますか？
- 省電力モードが設定されていませんか？
パソコン本体の電源ランプがオレンジ色になっている場合は、ACPI モードの高度（ACPI3）に移行している可能性があります。パソコン本体の電源ボタンを押してください。電源ボタンを押してから30秒以上たっても画面に何も表示されない場合、電源ボタンを4秒以上押し続け、電源を一度切ってください。
- 周辺機器は正しく取り付けられていますか？

■ マウスが使えないため、Windowsを終了できない

- キーボードを使って Windows を終了させることができます。
 1. 【Windows】キーまたは【Ctrl】+【Esc】キーを押します。
「スタート」メニューが表示されます。
 2. 【↑】【↓】キーで終了メニューの選択、【Enter】キーで決定を行うことで Windows の終了操作を行います。

マウスが故障している場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元に連絡してください。

■ Windows が動かなくなってしまい、電源が切れない

- 次の手順で Windows を終了させてください。
 1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「Windows のセキュリティ」ウィンドウが表示されます。

2. 「シャットダウン」をクリックします。
「Windows のシャットダウン」ウィンドウが表示されます。
3. 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。

POINT

- ▶ 強制終了した場合、プログラムでの作業内容を保存することはできません。

この操作で強制終了されないときは、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、10 秒以上待ってから電源を入れます。

4 Windows、ソフトウェア関連のトラブル

ここでは、Windows、ソフトウェアに関連するトラブルを説明します。トラブルに合わせてご覧ください。

■ Windows が起動しなくなった

- 周辺機器を取り付けませんでしたか？
いったん周辺機器を取り外し、Windows が起動するか確認してください。
もし起動するようであれば、周辺機器の取り付け方法が正しいか、もう一度確認してください。

■ 省電力機能が実行されない

- 「コントロールパネル」や BIOS の設定を確認してください。
省電力機能の詳細については、「動作環境の設定」－「省電力」（→ P.48）をご覧ください。

■ ログオン時に Windows 起動音が再生されるのが遅い

- DHCP より IP アドレスが取得されていない可能性があります。
ネットワーク環境をご確認ください。

■ 次のメッセージが表示される

- 管理者権限を持ったユーザーがスタートアップに「Program Neighborhood エージェント」を登録していないにもかかわらず、システム起動時に「Program Neighborhood エージェントが設定情報を更新できません。Web Interface サーバーが使用できないか、または URL が間違っている可能性があります。あるいは、設定ファイルの内容にエラーがあるか、または保存場所が正しくない可能性があります。」と表示される。
- 保護管理ツール起動時に、「関数 EwfMgrGetProtectedVolumeConfig でエラー（00000001）が発生しました。」

初めて電源を入れ、システムが初期設定を行っている時に、電源を切ったりしませんでしたか？誤って初期設定中に電源を切ってしまった場合はリカバリを実行します。リカバリの方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

5 ハードウェア関連のトラブル

ここでは、ハードウェアに関連するトラブルを説明します。

どのハードウェアに関連するトラブルかわからない場合は、まず「ハードウェア関連のトラブル一覧」(→ P.89)をご覧ください。

インターフェースのご使用について

- 本パソコンでは、あらゆる周辺機器の動作を保証するものではありません。ご使用になる周辺機器については、ご購入元にご確認ください。
- 指紋センサーをお使いになる場合は、別売の「バイオ認証装置（Secure Login Box）」、および「SMARTACCESS/Premium」のライセンスが必要です。
- 静脈認証をお使いになる場合は、別売の「バイオ認証装置」、バイオ認証装置のオプション製品「静脈認証オプション」、「PalmSecureTM センサー」、および「SMARTACCESS/Premium」のライセンスが必要です。

ハードウェア関連のトラブル一覧

- BIOS の「管理者用パスワードを忘れてしまった」(→ P.90)
- 「ユーザー用パスワードを忘れてしまった」(→ P.90)
- パソコン本体起動時に「エラーメッセージが表示された」(→ P.90)
- 「仮想メモリが足りない」(→ P.90)
- 「ネットワークに接続できない」(→ P.90)
- 「ネットワークリソースに接続できない」(→ P.91)
- 次の「機器が使用できない」(→ P.91)
 - ・ USB
 - ・シリアル
 - ・パラレル
- 「スマートカードが使えない」(→ P.91)
- 「画面に何も表示されない」(→ P.91)
- 「ディスプレイの表示が見にくい」(→ P.92)
- 「表示が乱れる」(→ P.92)
- 「スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる」(→ P.92)
- 「マイクからうまく録音ができない」(→ P.92)
- 「押したキーと違う文字が入力される」(→ P.93)
- 「マウスカーソルが動かない」(→ P.93)
- 「マウスカーソルが正しく動作しない（USB マウス（光学式）の場合）」(→ P.93)
- 「マウス／ポインティングデバイスが使えないため、Windows を終了できない」(→ P.93)
- 「USB デバイスが使えない」(→ P.94)
- 「プリンタを使用できない」(→ P.94)
- 「言語オプション選択で日本語以外を選択した後、起動しなくなった」(→ P.94)
- 「使用中の製品に関する最新情報を知りたい」(→ P.94)

BIOS

■ 管理者用パスワードを忘れてしまった

管理者用パスワードを忘れると、BIOS セットアップを管理者権限で起動することができなくなり、項目の変更やパスワード解除ができなくなります。この場合は、修理が必要となりますので「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。なお、保証期間にかかわらず修理は有償となります。

■ ユーザー用パスワードを忘れてしまった

ユーザー用パスワードを忘れた場合は、修理の必要はありません。パソコンの管理者に管理者用パスワードをいったん削除してもらった後、管理者用パスワード、ユーザー用パスワードの順にパスワードを設定し直してください。パスワードの設定方法については、「BIOS」－「BIOS のパスワード機能を使う」(→ P.71) をご覧ください。

■ エラーメッセージが表示された

パソコン本体起動時に、画面にエラーメッセージが表示される場合があります。

エラーメッセージの内容と意味については、「BIOS」－「BIOS が表示するメッセージ一覧」(→ P.74) をご覧ください。

メモリ

■ 仮想メモリが足りない

本パソコンを再起動してください。

なお、本パソコンのシステムはページングファイルを作成できません。

内蔵 LAN

■ ネットワークに接続できない

- ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
パソコン本体との接続、ハブとの接続を確認してください。
- ネットワークケーブルに関して、次の項目を確認してください。
 - ・ケーブルのコネクタやケーブルは損傷していませんか？
 - ・100Mbps で通信している場合、カテゴリ 5 のケーブルを使用してください。
 - ・1000Mbps で通信している場合、エンハンスドカテゴリ 5 (カテゴリ 5E) 以上のケーブルを使用してください。
- 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」→「CMD」で次のように入力し、「Reply from ~」という応答が表示されるか確認してください。

ping nnn.nnn.nnn.nnn

(nnn には通信相手の IP アドレスを入力します)

- ハブに関して、次の項目を確認してください。
 - ・電源は入っていますか？
 - ・ACT/LNK ランプは点灯していますか？
 - ・Speed (1000Mbps/100Mbps/10Mbps/Auto)、Duplex (Full/Half/Auto) の設定は、パソコン側の設定と合っていますか？
 - 画面右下の通知領域に LAN の接続状況が表示されますので、確認してください。
 - スタンバイ状態にしませんでしたか？
- LAN 機能を使ってネットワークに接続中は、スタンバイ状態にしないことをお勧めします。お使いの環境によっては、ネットワークへの接続が正常に行われない場合があります。

■ ネットワークリソースに接続できない

各種サーバーに接続できない場合は、ネットワーク管理者に原因を確認してください。一般的に、次の点を確認します。

- 各コンポーネントの設定は、正しいですか？
- サーバーにアクセスするためのユーザー名やパスワードは正しいですか？
- サーバーにアクセスする権限を与えられていますか？
- サーバーがなんらかの理由で停止していませんか？

デバイス

■ 機器が使用できない

- 「Portshutter」のポート設定は、有効になっていますか？

次の機器が使用できない場合は、システム管理者に「Portshutter」のポート設定が有効になっているか確認してください。

情報漏洩や不正プログラムの導入を防ぐために、「Portshutter」を使用して接続ポートを無効に設定している場合があります。

- ・USB
- ・シリアル
- ・パラレル

スマートカード

■ スマートカードが使えない

- スマートカードがスマートカードスロットに正しくセットされていますか？
- スマートカードは、専用のスマートカードスロットにセットしてお使いください。

ディスプレイ

■ 画面に何も表示されない

- 「電源が入らない」（→ P.86）、「画面に何も表示されない」（→ P.86）をご覧ください。

■ ディスプレイの表示が見にくい

- ディスプレイは見やすい角度になっていますか?
ディスプレイの角度を調節してください。

■ 表示が乱れる

- ソフトウェアを使用中に、アイコンやウィンドウの一部が画面に残ってしまった場合は、次の手順でウィンドウを再表示してください。
 1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、ソフトウェアを最小化します。
 2. タスクバーに最小化されたソフトウェアのボタンをクリックします。

POINT

- ▶ Windows 起動時および画面の切り替え時に表示が乱れることがあります、動作上は問題ありません。

- 近くにテレビなどの強い磁界が発生するものはありませんか?
強い磁界が発生するものは、ディスプレイやパソコン本体から離して置いてください(→ P.82)。

■ 画面の両サイドが欠ける

- 使用しているディスプレイの調整ボタンで、水平画面サイズを調整してください。

サウンド

■ スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる

□ 外付けスピーカーに関して次の項目を確認してください。

- パソコン本体と正しく接続されていますか?
- スピーカーの電源ケーブルは接続されていますか?
- スピーカーの電源ボタンは入っていますか?
- 音量ボリュームは正しく調節されていますか?
- ヘッドホン端子にヘッドホン(または他のデバイス)が接続されていませんか?

□ OS の「音量の調整」または「ボリュームコントロール」などの設定(ミュートや音量など)を確認してください。

- 音が割れる場合は音量を小さくしてください。

■ マイクからうまく録音ができない

- 音量は調節されていますか?
音量を設定するウィンドウで録音の項目を有効にし、音量を調節してください。詳しくは、「動作環境の設定」—「音量の設定」(→ P.44)をご覧ください。
- 録音は Citrix Presentation Server の Advanced Edition、または Enterprise Edition のみで使用できます。

キーボード

■ 押したキーと違う文字が入力される

- 【NumLk】キーや【CapsLock】キーが有効になつていませんか？
キーボードのインジケータまたは状態表示LCDで、NumLk表示やCapsLock表示が点灯して
いないか確認してください。
- 「コントロールパネル」の「キーボード」の設定は正しいですか？
次の手順で確認してください。
 1. 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウインドウが表示されます。
 2. 「キーボード」をダブルクリックします。
「キーボードのプロパティ」ウインドウが表示されます。
 3. 「ハードウェア」タブの「デバイス」で、正しい日本語キーボードが設定されているか
確認します。

マウス

■ マウスカーソルが動かない

- マウスは正しく接続されていますか？
- ボールやローラーなどにゴミが付いていませんか？
マウス内部をクリーニングしてください。
- オプティカルセンサー部分が汚れていませんか？(USBマウス(光学式)の場合)
オプティカルセンサー部分をクリーニングしてください。

■ マウスカーソルが正しく動作しない (USBマウス(光学式)の場合)

- 次のようなものの上で操作していませんか？
 - ・鏡やガラスなど反射しやすいもの
 - ・光沢のあるもの
 - ・濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの(木目調など)
 - ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの
- マウスパッドをお使いになる場合は、明るい色の無地のマウスパッドをお使いになること
をお勧めします。

■ マウスが使えないため、Windowsを終了できない

- キーボードを使用してWindowsを終了してください(→P.86)。

USB

■ USB デバイスが使えない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- USB デバイスがハブ以外に接続されていませんか？
USB デバイスは本体に直接接続してください。
- USB デバイスに不具合はありませんか？
USB デバイスに不具合がある場合、Windows が動かなくなります。
パソコンを再起動して、USB デバイスを接続し直してみてください。それでも正常に動作しない場合は、USB デバイスのご購入元にご連絡ください。

プリンタ

■ プリンタを使用できない

次の点を確認してください。

- プリンタケーブルは正しく接続されていますか？
- ケーブルのコネクタやケーブルは損傷していませんか？
- プリンタの電源は入っていますか？
- プリンタドライバは正しくインストールされていますか？
プリンタのマニュアルをご覧になり、再インストールしてください。
- ネットワークプリンタの場合、ネットワーク管理者の指示に従って設定を行いましたか？
- ネットワークプリンタの場合、ネットワーク自体へのアクセスはできていますか？(→ P.90)

その他

■ 言語オプション選択で日本語以外を選択した後、起動しなくなった

- 本パソコンでは、日本語のみの対応となります。
詳しくは、「言語オプションの選択」(→ P.13) をご覧ください。
言語オプション変更後に、本パソコンが起動しなくなった場合はリカバリを実行します。リカバリの方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

■ 使用中の製品に関する最新情報を知りたい

- 製品出荷後に判明した問題などの最新情報は、弊社の富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html) で公開しています。必要に応じてご覧ください。

6 それでも解決できないときは

お問い合わせ先

■ 弊社へのお問い合わせ

故障かなと思われたときや、技術的なご質問・ご相談などについては、『取扱説明書』をご覧になり、弊社までお問い合わせください。
なお、サーバー／ネットワークに関しては、担当営業またはご購入元にお問い合わせください。

Memo

索引

A

Admin Password 71

B

BIOS

- セットアップ 60
- セットアップの操作のしかた 61
- セットアップを終了する 63
- のパスワード 71

BIOS パスワード 14

Boot メニュー 69

C

Chipset メニュー 66

Components メニュー 67

D

Disks メニュー 66

E

Exit メニュー 70

F

FMV 診断 55, 85

I

ICA クライアント 55

Internet Explorer 54

L

LAN 47

- コネクタ 20, 77

LAN 着信によるレジューム 51

M

Microsoft IME スタンダード 2002 55

Microsoft Windows XP Embedded with

Service Pack 2 54

P

Portshutter 14, 56

Power メニュー 68

S

Safe モード 84

U

USB コネクタ 19, 20, 80

User Password 71

W

Wakeup on LAN 51

Windows Media Player 55

あ行

色数 43

インレット 21

か行

解像度 43

管理者用パスワード 71

キーボード 31

- コネクタ 20, 79

- のお手入れ 37

起動時の自己診断 (POST) 60

コネクタ仕様 77

さ行

指紋センサー 15

周辺機器 26

仕様 76

省電力 48

情報表示ツール 56

シリアルコネクタ 21, 79

スタンド 19

スタンバイ 48

スマートカード 34

- アクセスランプ 18

- 専用スロット 18

スマートカードリーダ／ライタ 14

た行

ディスプレイコネクタ	21, 77
電源	
一ボタン	18
一ランプ	18
盗難防止用ロック取り付け穴	16, 21

な行

内蔵フラッシュメモリーアクセス	
ランプ	19

は行

パスワード (BIOS)	
一削除する	73
一設定する	72
一変更する	73
一忘れる	71
パソコン本体のお手入れ	36
パラレルコネクタ	21, 78
プリンタ	35
ヘッドホン端子	19
保護管理ツール	55
本体仕様	76

ま行

マイク端子	19
マウス	28
一コネクタ	20, 79
一のお手入れ	36
メッセージ (BIOS)	74

や行

ユーザー用パスワード	71
------------	----

ら行

ラインアウト端子	21
リモートデスクトップ接続	55

FMV-TC5230

製品ガイド
B5FJ-6291-01-00

発行日 2007年12月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。